
政府統計共同利用システム（オンライン調査システム）
電子調査票ガイドライン
電子調査票開発編（HTML 用）

令和元年5月17日

統計センター

変更履歴表

版数	管理 番号	変更 区分	変更 章・項	変更内容(変更理由)	(日付)
0.90	-	-	-	暫定版	2017/5/12
1.00	-	-	-	初版	2017/8/15
1.00	-	更新	5.2.17	「図 1-1 strdata_array に設定されるデータサンプル」に係る記述内容の修正	2017/8/31
1.01	-	更新	1.3.1	項目定義設計書に Excel テンプレート作成機能を追加	2018/5/31
1.01	-	更新	4.1.3	「Excel テンプレート作成」ボタン追加に伴い、項目定義設計書の画像を張替え	2018/5/31
1.01	-	追加	4.1.3 (1)	「㊦ Excel テンプレート作成」項を追加	2018/5/31
1.01	-	追加	4.1.5	「回答データテンプレートの作成」章を追加	2018/5/31
1.02	-	更新	1.2.1	フォルダ構成 説明文修正	2018/8/9
1.03	-	更新	4.1.5	テンプレートファイルのカスタマイズについて、PDF 形式における注意事項を追記	2018/11/28
1.04	-	更新	2.2.3 (2)	エラーメッセージ修正	2019/3/8
1.04	-	更新	3.2.4 (2)	改行コードのエスケープ変換後の記載誤り修正	2019/3/8
1.04	-	更新	4.1.3 (1)	項目定義設計書の項目名について説明追記	2019/3/8
1.05	-	更新	4.2.2 (4)	セレクトボックス例に令和を追記	2019/5/17
1.05	-	更新	4.2.2 (5)	リストボックス例に令和を追記	2019/5/17
1.05	-	更新	5.2.7 (3)	和暦日付を渡す場合の例を平成から令和へ変更	2019/5/17

(注) 変更区分欄には、追加、削除、更新等の変更方法を記述。

目次

1	電子調査票とは.....	1-1
1.1	電子調査票の特徴.....	1-1
1.1.1	電子調査票の作成.....	1-1
1.1.2	回答データ作成.....	1-1
1.1.3	電子調査票の表示.....	1-1
1.1.4	回答データのチェックの実施.....	1-1
1.2	電子調査票の構成.....	1-2
1.2.1	フォルダ構成.....	1-2
1.2.2	スタイルシート.....	1-2
1.2.3	画像ファイル.....	1-2
1.2.4	JavaScript ファイル.....	1-3
1.2.5	HTML ファイル.....	1-3
1.3	テンプレート類、作成物.....	1-5
1.3.1	項目定義設計書.....	1-5
1.3.2	電子調査票.....	1-5
1.3.3	システムテスト仕様書.....	1-6
2	電子調査票共通仕様.....	2-1
2.1	前提条件.....	2-1
2.1.1	使用する帳票実現手段.....	2-1
2.1.2	必要なソフトウェア.....	2-1
2.1.3	開発言語.....	2-1
2.2	電子調査票の基本構成.....	2-1
2.2.1	基本仕様.....	2-1
2.2.2	制御・チェック機能の概要.....	2-2
2.2.3	電子調査票動作.....	2-4
2.2.4	電子調査票テンプレート.....	2-15
3	調査票の電子化における留意点.....	3-1
3.1	タグ.....	3-1
3.1.1	命名ルール.....	3-1
3.1.2	タグ説明.....	3-2
3.2	制限事項等.....	3-3
3.2.1	カーソル移動について.....	3-3
3.2.2	チェックボックスの表示について.....	3-3
3.2.3	数値の表現について.....	3-3
3.2.4	文字コードについて.....	3-3
3.2.5	エスケープ文字について.....	3-4
3.2.6	プレプリント文字数について.....	3-4
3.2.7	項目数について.....	3-4
3.2.8	データの多重送信について.....	3-4
3.2.9	調査票のファイル名について.....	3-4
3.2.10	フォームのプロパティについて.....	3-5
3.2.11	HTML タグについて.....	3-5
3.2.12	コンテンツファイルの指定方法について.....	3-6
3.2.13	レスポンス Web デザイン対応版 HTML 調査票の開発における注意事項.....	3-6
4	電子調査票開発手順.....	4-1
4.1	要件確定フェーズ.....	4-2
4.1.1	開発対象の調査票の提示.....	4-2
4.1.2	調査項目の整理.....	4-2
4.1.3	調査項目の定義.....	4-4

4.1.4	設定情報の作成	4-13
4.1.5	回答データテンプレートの作成	4-14
4.2	開発フェーズ	4-15
4.2.1	電子調査票のレイアウト作成	4-16
4.2.2	フィールド情報の設定	4-17
4.2.3	回答内容チェックの組込み	4-33
4.2.4	タブ順の設定	4-34
4.3	単体テストフェーズ	4-35
4.3.1	単体テスト準備	4-36
4.3.2	電子調査票の動作確認	4-38
4.3.3	XML データ構造の確認	4-39
5	関数仕様	5-40
5.1	共通関数の構成	5-40
5.1.1	制御・チェック関数	5-40
5.1.2	共通関数利用時の注意	5-41
5.2	共通関数の仕様（制御・チェック関数）	5-42
5.2.1	システム日付の取得	5-42
5.2.2	データクリア	5-42
5.2.3	クラス名の変更	5-43
5.2.4	表示/非表示の切り替え	5-43
5.2.5	読み取り/入力の切り替え	5-44
5.2.6	入力項目チェック	5-45
5.2.7	日付チェック	5-46
5.2.8	固定桁数チェック	5-46
5.2.9	範囲チェック	5-47
5.2.10	数値チェック	5-47
5.2.11	全角チェック	5-48
5.2.12	半角チェック	5-48
5.2.13	全角カナチェック	5-49
5.2.14	半角カナチェック	5-49
5.2.15	半角カンマチェック	5-50
5.2.16	メッセージ表示	5-50
5.2.17	回答情報の埋め込み	5-51
6	埋め込み対象項目：strdata_array（宣言箇所等は 1.2.5(2) データ埋め込みとパス変換を参照）	6-52
7	更新（F5 キー）は表示中の HTML 調査票のページに input タグ等で配置された項目のみが更新対象となります。	7-53
8	初期値は管理情報、連絡先情報、プレプリント情報となります。	8-54

1 電子調査票とは

オンライン調査システムで用いる調査票を、『電子調査票』といい、PDF 形式、HTML（Hyper Text Markup Language）形式、Excel 形式のいずれかを用いて作成します。本ドキュメントでは HTML 形式の電子調査票について記載します。

1.1 電子調査票の特徴

電子調査票（HTML 調査票）の特徴について説明します。

1.1.1 電子調査票の作成

調査実施機関との打ち合わせで確定したレイアウトを基に、電子調査票を作成します。

1.1.2 回答データ作成

回答の一時保存が可能であるため、回答に手間の掛かる統計調査にも調査対象者の都合に合わせた運用が可能です。

なお、一時保存された回答データは、オンライン調査システム上に保存され、回答送信が実行された時点でオンライン調査システム上から削除されます。

1.1.3 電子調査票の表示

一般的な Web ページと同様に、Web ブラウザ上で表示する事が可能です。

1.1.4 回答データのチェックの実施

電子調査票に JavaScript を埋め込むことにより、各種回答内容チェック（必須入力の有無チェック、整合性チェックなど）が可能です。

1.2 電子調査票の構成

1.2.1 フォルダ構成

オンライン調査システムにおいて、調査対象者が回答するために用いる調査票の機能を持つファイルです。HTML ファイルで作成されます。必要であれば英語の調査票を用意します。

各ファイルは以下のように配置します。なお、最終的に電子調査票をオンライン調査システムへアップロードする際は、以下のフォルダ構成にする必要があります。

- ① 「JA」フォルダと「EN」フォルダを作成します。
 - ※ JA：日本語版電子調査票フォルダ（フォルダ名称は固定）
 - ※ EN：英語版電子調査票フォルダ（フォルダ名称は固定）
 - ※ 日本語版のみの場合、JA フォルダのみ必要で、EN フォルダは不要です。
- ② 「JA」フォルダに日本語版電子調査票を格納し、「EN」フォルダに英語版電子調査票を格納します。
- ③ 上記手順で作成した「JA」フォルダと「EN」フォルダの2つのフォルダを選択して zip 形式で圧縮したファイルをオンライン調査システムへアップロードします。

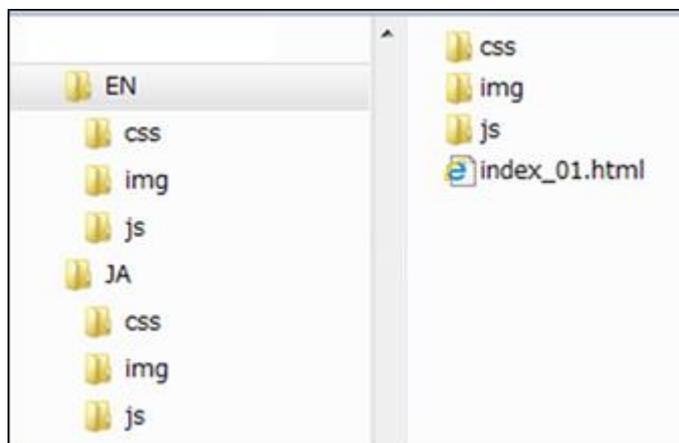


図 1-1 電子調査票（HTML 調査票）フォルダ構成

【注意】

- ルートフォルダには「img」「css」「js」以外のフォルダは配置できません。
- ヘルプ用 HTML ファイル（ポップアップ）等を使用する場合は「img」「css」「js」フォルダに配置します。

1.2.2 スタイルシート

調査票のデザインを設定するためのファイルです。CSS ファイルで作成されます。日本語・英語それぞれのフォルダに格納します。日本語・英語のページで同じファイル名・同じ内容の定義ファイルを使用します。

1.2.3 画像ファイル

調査票に表示するための画像ファイルです。画像ファイルは、日本語・英語それぞれのフォルダに格納します。日本語・英語のページで同じファイル名にします。

1.2.4 JavaScript ファイル

回答内容チェックや入力フィールドの制御を行うためのファイルです。日本語・英語それぞれのフォルダに格納します。日本語・英語のページで同じファイル名の制御ファイルを使用します。ただし、このファイル内で編集しているメッセージ部分については言語ごとに定義するものとします。

1.2.5 HTML ファイル

(1) HTML タグの構成

以下のようなタグ構成となります。

```
<html>
  <head>
    <meta>
    <script>
  </head>
  <body>
    <form>
  </form>
  </body>
</html>
```

図 1-2 HTML タグ構成

(2) データ埋め込みとパス変換

調査票取得時点でデータ埋め込みとリクエスト用のパス変換が行われます。対象はルートフォルダのHTML ファイルが対象です。以下埋め込まれるデータとなります。

単体テストでは、上記変数が存在しないためエラーが発生する場合がありますので、chosahyo_tantai.js のようなファイルを用意し、HTML ファイルの head に、`<script type="text/javascript" src="./js/chosahyo_tantai.js"></script>`と記述してください。

表 1-1 埋め込まれるデータ1（</head>の前に<script>に囲んで埋め込み）

埋め込み対象文字列	データ説明
var strdata_array	認証情報・管理情報・連絡先情報・回答情報（プレプリント情報含む）の連想配列（{タグ名：値}）
var actname_send_page	ページ遷移のアクション名の文字列
var actname_save_kaito_tmp	回答の一時保存のアクション名の文字列
var actname_load_kaito_tmp	一時回答の取得のアクション名の文字列
var actname_send_kaito	回答送信のアクション名の文字列
var output_message	回答の一時保存・一時回答の取得における出力メッセージの文字列

表 1-2 埋め込まれるデータ2（</form>の前に埋め込み）

埋め込み対象文字列	説明
<input type="hidden" name="currentPage" value="xx">	xx：現在のページ番号を2桁表示
<input type="hidden" name="org.apache.struts.taglib.html.TOKEN" value="xxxx">	xxxx：トークンの値


オンライン調査システム体験機能調査票(サンプル)

[お問い合わせ](#) [ヘルプ](#) [ログアウト](#)

次ページへ
回答の一時保存
一時保存した回答の取得
調査票一覧へ

氏名	必須	<input type="text"/>
フリガナ（全角カナ）	必須	<input type="text"/>
フリガナ（半角カナ）	必須	<input type="text"/>
メールアドレス	必須	<input type="text"/>
メールアドレス（確認）	必須	<input type="text"/>
パスワード	必須	<input type="text"/>
パスワード（確認）	必須	<input type="text"/>
郵便番号	必須	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/>
都道府県	必須	<input type="text" value="選択してください"/>
<small>読み取り専用にする 読み取り専用を解除する</small>		
市区町村	必須	<input type="text"/>
番地・部屋番号	必須	<input type="text"/>
<small>読み取り専用にする 読み取り専用を解除する</small>		
建物名		<input type="text" value="入力されていない場合は半角カンマチェックを行います。"/>
性別	必須	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性 <input type="radio"/> 未回答
<small>読み取り専用にする 読み取り専用を解除する</small>		
生年月日	必須	明治 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
年齢	必須	<input type="text"/> 歳
世帯主との続き柄	必須	<input type="text" value="世帯主"/>
<small>読み取り専用にする 読み取り専用を解除する</small>		
調査項目その1		<input type="checkbox"/> 選択肢01 <input type="checkbox"/> 選択肢02 <input type="checkbox"/> 選択肢03
<small>読み取り専用にする 読み取り専用を解除する</small>		
調査結果の送付		<input type="checkbox"/> 調査票の送付を希望する
特記事項		<input type="text"/>
<small>この項目に回答する この項目に回答しない</small>		

2017/08/12(平成29年08月12日)

入力をチェック
全て未入力・未選択
クリア

回答の送信
回答の一時保存
一時保存した回答の取得
調査票一覧へ
前ページへ

図 1-3 電子調査票（HTML 調査票）ファイルイメージ

1.3 テンプレート類、作成物

電子調査票を作成するにあたり、使用するテンプレート類、作成物は、以下のとおりです。

1.3.1 項目定義設計書

図 1-4 に示す項目定義設計書テンプレートへ、電子調査票の各調査項目における定義情報（タグ情報、文字数等）を記載します。テンプレートにはタグ名重複チェック、システム登録情報（CSV ファイル）、XML 構造確認用シート作成、システムテスト支援（チェックシート作成）機能、シート名、セル位置重複チェック機能、Excel テンプレート作成機能を標準的に用意しています。詳細は「4.1 要件確定フェーズ」を参照してください。

項目定義設計書（システム登録情報）										作成日	更新日	Revision	作成者												
統計調査名称	政府統計コード		電子調査票ID	電子調査票名	電子調査票名（英）																				
タグ名重複チェック	シート名、セル位置重複チェック(Excel調査票用)	XML構造確認用シート作成	システムテスト支援(チェックシート作成)	Excelテンプレート作成	システム登録情報(CSVファイル)の作成																				
<p><注意事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グレーのセルは修正不可の欄です。 ・各項目の見出しセルにカーソルを合わせると、当該項目の説明が表示されます。 <p>(※1) タグ階層レベル3 不使用の場合必須です。 (※2) 回答データをCSV形式又は固定長テキスト形式で作成する場合のみ必須です。 (※3) Excel 調査票の場合は必須です。</p>																									
システムに登録する情報										システムに登録しない情報 (電子調査票を設計する際に考慮する項目)				初期値		備考欄									
項目番号 (必須)	タグ階層レベル1 (必須)	タグ階層レベル2 (※1)	タグ階層レベル3	項目名 (必須)	タグ名 (必須)	調査票への表示 (必須)	文字の種類 (必須)	最大文字数 (必須)	入力必須	回答データ出力順 (※2)	シート名 (※3)	セルの位置 (※3)	フィールド種類	タブ順	読取専用	桁よせ	文字サイズ	小数桁数	複数行入力	桁数チェック	プレ・プリント	選択肢		初期値	備考欄
																						名称	値		
1	1			外部確認情報格納エリア	taishosha_cer	-	-	-	-				サブフォーム	-	-	-	-	-	-	-	-				
8	2			管理情報格納エリア	kanri	-	-	-	-				サブフォーム	-	-	-	-	-	-	-	-				
14	3			連絡先情報格納エリア	renraku	-	-	-	-				サブフォーム	-	-	-	-	-	-	-	-				
41	4			調査票回答格納エリア	kaito	-	-	-	-				サブフォーム	-	-	-	-	-	-	-	-				
42		1		氏名	shimei	○	全角	20	○	1			テキストフィールド	-	左	12	-	-	-	-	-				
43		2		性別	seibetsu	○	英数	1	○	2			ラジオボタン	-	-	12	-	-	-	-	-	男性	1	○	
44																						女性	2		
45		3		血液型	ketsueki	○	英数	1	-	3			リストボックス	-	-	12	-	-	-	-	-	A型	1	○	
46																						B型	2		
47																						○型	3		
48																						A B型	4		
49		4		年齢	nenrei	○	半角	2	-	4			テキストフィールド	-	左	12	-	-	-	-	-				

図 1-4 項目定義設計書テンプレート

1.3.2 電子調査票

HTML 形式の電子調査票を作成します。運用管理機関から、開発用の部品（共通関数を定義した JavaScript ファイル、サンプルの HTML 調査票）を提供します。詳細は「4.2 開発フェーズ」を参照してください。

1.3.3 システムテスト仕様書

図 1-5 図 1-6 に示すシステムテスト仕様書テンプレートを使用して単体テストを行います。詳細は「4.3 単体テストフェーズ」を参照してください。

システムテスト仕様書		所轄部署	〇〇省		承認	担当	
		統計調査名	〇〇〇〇調査				
		電子調査票名	〇〇〇〇〇〇調査票				
		電子調査票ID					
OS:		ブラウザ:					
項目番号	試験項目	確認条件（環境） & チェック確認条件		確認項目（結果）	試験1 確認日 判定	試験2 確認日 判定	確認方法
	システムテスト準備	① 試験用HTMLを確認する ② 試験時のブラウザ、OSを確認する（上記に記入） ③ 項目定義情報設計書と自動審査情報設計書を確認する ④ 項目定義書からチェックシートを作成する ⑤ チェックシートの初期値欄に値を設定する ⑥ 個別チェックがある場合は別途試験書を作成する ◆試験はローカル環境に複写後実施する		<要注> ※項目定義設計書で作成されるチェックシートにはチェック対象外の項目には予め“(ハイフン)”が設定されています ※確認日および判定（OK）は必ずボールペン字でお願いします			
1	入力フィールドの設定確認						チェックシートを使用
1-1	読み取り専用の確認	対象：全入力フィールド フィールドに入力が可能であるか確認する		読取専用 = "〇" の場合：入力不可 読取専用 = "△" の場合：入力可能であることを確認する			目視
1-2	タブ順の確認	対象：全入力フィールド Tabキーによりカーソルの移動を行う		項目定義書のタブ順に設定されている通りの順番にカーソルが移動することを確認する ※読取専用のフィールドはテスト対象外			目視
1-3	桁数の確認	対象：テキストフィールド・数値フィールド 項目定義書、最大文字数以上の文字を入力する。		最大文字数以上の文字は入力できないことを確認する ※読取専用のフィールドやテキストフィールド・小数点フィールド以外のフィールドはテスト対象外			目視
1-4	桁よせの確認	対象：全入力フィールド 入力フィールドに値を入力して桁よせの状態を確認する。		項目定義書に設定されている通りに表示されることを確認する ※テキストフィールド・小数点フィールド以外のフィールドはテスト対象外			目視
1-5	複数行入力の確認	対象：テキストフィールド 入力内容に改行を行う		項目定義書通りに改行の可不可が設定されていることを確認する ※テキストフィールド以外のフィールドはテスト対象外			目視
1-6	初期値の確認	対象：全入力フィールド 電子調査票を開いた時の状態を確認する		(初期値欄 or 備考に初期値の指定がある場合) 指定されている値が初期表示されていることを確認する (初期値欄 or 備考に初期値の指定がない場合) 初期値が空白であることを確認する			目視

図 1-5 システムテスト仕様書テンプレート 1

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	
	項目番号	フィールド種類	項目名	試験項目 1-1	確認	タブ順	試験項目 1-2	確認	最大文字数	確認	桁よせ	確認	複数行入力	試験項目 1-5	確認	試験項目 1-6	試験項目 1-7	
2				読取専用										初期表示 (手書きで記入してください)		コメント	確認	
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		

図 1-6 システムテスト仕様書テンプレート 2

2 電子調査票共通仕様

電子調査票における各調査実施機関共通仕様を以下に説明します。

2.1 前提条件

2.1.1 使用する帳票実現手段

各調査項目（入力フィールド）の定義情報は項目定義設計書にて定義された内容とします。

2.1.2 必要なソフトウェア

HTML 調査票の場合、開発に必要なツールの指定はありません。

2.1.3 開発言語

HTML 調査票の場合、プログラム開発言語は JavaScript を使用します。

2.2 電子調査票の基本構成

電子調査票の基本構成について以下に説明します。

2.2.1 基本仕様

(1) 処理ボタン

電子調査票で共通に使用する処理ボタンの一覧です。ボタン押下時に起動する関数は、運用管理機関より提供される JavaScript ファイルに定義されています。

表 2-1 HTML 調査票共通ボタン一覧

部品名称	処理内容
一時回答取得ボタン	一時回答保存ボタン押下時に保存した内容を HTML へ表示します。
クリアボタン	表示ページの全項目をクリアします。
次へボタン	ページごとに審査を行い、エラーがない場合、次の画面へ遷移します。
一時回答保存ボタン	入力した回答データをサーバに保存します。保存前に回答データの審査は行いません。
回答データ送信ボタン	回答データをサーバに送信します。送信前には回答データの審査を行い、正常な場合のみ送信することになります。
ログアウトボタン	オンライン調査システムからログアウトします。ログアウト処理後、ログイン画面へ遷移します。
お問い合わせボタン	設定されている政府統計のお問い合わせを表示します。
ヘルプボタン	オンライン調査システムの画面解説を表示します。
調査票一覧へボタン	調査票一覧の最初のページへ遷移します。

(2) 入力フィールドの背景色

HTML 調査票の場合、入力フィールドの背景色は指定されていませんが、スタイルシートにより設定することが可能です。

(3) エラー背景色

HTML 調査票の場合、エラー項目フィールドの背景色は指定されていませんが、運用管理機関より提供する共通関数を使用して、背景色を変更することができます。

(4) フォント

全角文字は「MS 明朝」又は「MS ゴシック」とします。
 半角英数字は「Times New Roman」とします。
 フォントサイズは「10pt」を基本とし、最小「5pt」とします。

(5) 文字色

テキスト文字色は「黒」とします。
 強調する場合は「赤」とします。

(6) 右揃え/左揃え

- ・ 右揃え：数値、金額、日付、時刻
- ・ 左揃え：文字列（氏名、住所など）、電話番号、郵便番号

(7) ファイル構成について

英語版と日本語版はフォルダを分けて格納します。

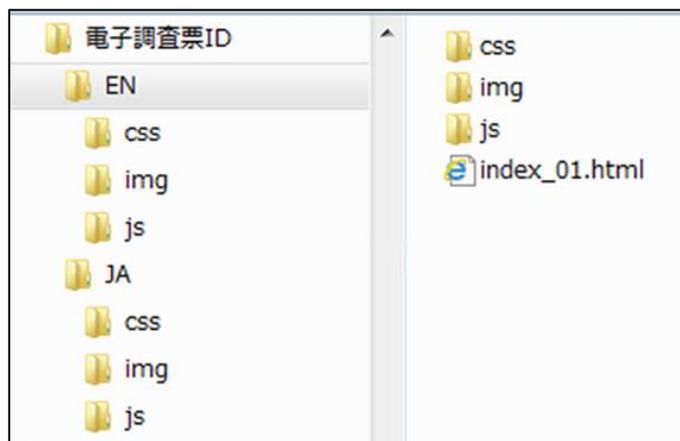


図 2-1 HTML 調査票ファイル配置

2.2.2 制御・チェック機能の概要

(1) 制御関数

HTML 調査票でデータ取得やフィールドの制御等を行う共通関数の一覧です。

表 2-2 制御関数一覧

関数名	内容
システム日付の取得	クライアントのシステム日付を自動的に取得します。 用途：電子調査票のオープン時等に使用します。
データクリア	ページ内のすべての入力値をクリアしたい場合に使用します。 注意：プレプリント項目もクリアされます。
クラス名の変更	エラーやエラー解消時に入力フィールドの背景色の変更を行う場合に使用します。 スタイルシートに定義したクラス名を変更することにより、背景色の変更が可能となります。

関数名	内容
表示/非表示の切り換え	オブジェクトを表示したい場合、又は非表示にしたい場合に使用します。
読み取り/入力の切り換え	オブジェクトを読み取り専用にしたい場合、又は入力可能にしたい場合に使用します。
メッセージ表示	確認及びエラーメッセージを表示させたい場合に使用します。対象となるメッセージは表 2-5 メッセージ一覧 を参照してください。
回答情報の埋め込み	プレプリント情報や回答情報の埋め込みを行います。 また、サーバから渡されるメッセージの表示を行います。HTML 調査票を表示する際に使用します。

(2) チェック機能

HTML 調査票で入力された値に対して、判定を行う機能や共通関数の一覧です。

表 2-3 チェック機能（共通関数）一覧

名称	判定	内 容
入力項目チェック	共通関数を使用	入力項目に対して、入力されているか判定を行います。 用途：入力必須、入力推奨項目に対して使用します。
日付チェック	共通関数を使用	日付項目に対して、正常な日付形式で入力されているか判定を行います。
固定桁数チェック	共通関数を使用	項目に設定されている最大桁数で入力されているか判定を行います。
範囲チェック	共通関数を使用	項目に設定されている入力範囲内で入力されているか判定を行います。マイナスの判定にも使用します。
数値チェック	共通関数を使用	数値以外の文字が入力されていないか、判定を行います。
全半角チェック	共通関数を使用	全角文字と半角文字が混在していないか、判定を行います。
全角カナチェック	共通関数を使用	全角カナ文字以外の文字が混在していないか、判定を行います。
半角カナチェック	共通関数を使用	半角カナ文字が混在していないか、判定を行います。
半角カンマチェック	共通関数を使用	半角カンマが混在していないか、判定を行います。
文字数の制限	プロパティを設定	テキストフィールドに対して、入力可能な最大の文字数を設定します。

● 注目！ 共通関数の詳細は「5. 関数仕様」を参照。

2.2.3 電子調査票動作

(1) サーバ連携

電子調査票の内容をサーバへ送信する情報を以下のとおり設定します。

表 2-4 対象者認証情報・管理情報・連絡先情報一覧

項目番号	タグ階層レベル1	タグ階層レベル2	タグ階層レベル3	項目名	タグ名	備考
1	1			対象者認証情報格納エリア	taishosha_cer	電子調査票ダウンロード時、オンライン調査システム側でデータを設定します。また、必要に応じて回答データ送信時に電子調査票側でデータを設定します。
2		1		認証統計調査コード	cer_toke_cd	
3		2		認証調査対象者 ID	cer_taishosha_id	
4		3		パスワード（確認コード）	cer_kakunin_cd	
5		4		36 進統計調査コード	toke_cd_36	
6		5		送信先 URL1	soshin1	
7		6		送信先 URL2	soshin2	
8	2			管理情報格納エリア	kanri	
9		1		統計調査コード	toke_cd	
10		2		実施時期コード	jiki_cd	
11		3		調査対象者 ID	taishosha_id	
12		4		電子調査票 ID	chosahyo_id	
13		5		キー項目	key_komoku	
14	3			連絡先情報格納エリア	renraku	
15		1		メールアドレス	mail_adr	
16		2		氏名	shime	
17		3		会社名	kaisha	
18		4		英文会社名	kaisha_e	
19		5		商号	shogo	
20		6		支店名	shiten	
21		7		店舗名	tempo	
22		8		代表者名	daihyosha	
23		9		法人名	hojin	
24		10		学校名	gakko	
25		11		部署名	busho	
26		12		担当者名	tantosha	
27		13		住所	jusho	
28		14		所在地	shozaichi	
29		15		本社・本店所在地	shozaichi_2	
30		16		ビル名	biru	
31		17		郵便番号	yubin_no	
32		18		本社・本店郵便番号	yubin_no_2	
33		19		電話番号	tel_no	
34		20		本社・本店電話番号	tel_no_2	
35		21		内線番号	naisen_no	
36		22		携帯電話番号	ketai_no	

項目番号	タグ階層レベル1	タグ階層レベル2	タグ階層レベル3	項目名	タグ名	備考
37		23		FAX番号	fax_no	
38		24		備考1	biko_1	
39		25		備考2	biko_2	
40		26		備考3	biko_3	
41	4			調査票回答格納エリア	kaito	調査票回答格納エリアに電子調査票側で回答データを設定します。
42		1		総務省承認番号	syonin_no	

(2) メッセージ

① 回答内容チェック

HTML 調査票の共通関数で使用するメッセージの一覧です。

表 2-5 メッセージ一覧

言語	メッセージ	内 容
日	以下の項目は必須入力です <<対象フィールド>>	必須項目が未入力の場合に使用します。メッセージの最後に対象のフィールド名を指定します。
英	These are required items <<対象フィールド>>	
日	以下の項目が入力されていませんが処理を継続します。 <<対象フィールド>>	警告対象の項目が未入力の場合に使用します。メッセージの最後に対象のフィールド名を指定します。
英	The following items are not input, but continue processing. <<対象フィールド>>	
日	以下の項目は全角文字と半角文字が混在しています。 <<対象フィールド>>	全角文字と半角文字が混在している場合に使用します。
英	The following items are full-width and half-width characters mixed. <<対象フィールド>>	
日	以下の項目は入力値に誤りがあります。 <<対象フィールド>>	入力内容に論理時に誤りがある場合に使用します。
英	In the following items, the input value is incorrect. <<対象フィールド>>	
日	全角文字で入力してください	全角文字フィールドに半角文字が入力されている場合に使用します。
英	Please input by a fullwidth character	
日	半角文字で入力してください	半角文字フィールドに全角文字が入力されている場合に使用します。

言語	メッセージ	内 容
英	Please input by a halfwidth character	
日	かな文字で入力してください（※）	かな文字フィールドに全角かな文字以外が入力されている場合に使用します。
日	カナ文字で入力してください（※）	カナ文字フィールドに全角カナ文字以外が入力されている場合に使用します。
日	半角数字で入力してください	数字フィールドに半角数字以外が入力されている場合に使用します。
英	Please input with a half size number	
日	日付を正しく入力してください	日付項目に対して、正常な日付形式で入力されていない場合に使用します。
英	Please input a date definitely	
日	固定桁数<<引数 1 >>桁で入力してください	固定桁数チェックを行う場合に使用します。 引数 1：フィールド名 引数 2：固定桁数
英	Please input with fixed digit <<引数 1 >> digit	
日	正しい範囲<<引数 1 >>~<<引数 2 >>で入力してください	項目に設定されている入力範囲内で入力されていない場合に使用します。
英	Please enter with the correct range <<引数 1 >> ~ <<引数 2 >>	
日	<<引数 1 >>桁以内で入力してください。	設定されている桁数以上に入力されている場合に使用します。
英	<<引数 1 >> Please input within digits.	
日	数字のみを入力してください	数値フィールドに数値以外の文字が入力されている場合に使用します。
英	Please input only a numbers	
日	<<引数 1 >>します。よろしいですか。	クリア・保存・送信などの処理を行う場合に確認メッセージとして使用します。引数 1：処理名称（クリア・送信等）
英	<<引数 1 >>I do it. Are you sure?	

対応言語

- ・日：日本語
- ・英：英語

（※）日本語のみの電子調査票に使用可能とする。多言語対応時は「文字の種類」で“全角”：全角文字のみ入力可能と、“カナ”：全角カナのみ入力可能は使わない。全角・半角・カナなどがすべて入力可能な文字の種類（“-”：テキストフィールド以外）とする。

② オンライン調査システムが行う回答データチェック

受付た回答データに不備があった場合、オンライン調査システムから回答を行った調査対象者へ返すエラーメッセージの一覧です。※システムから自動的に返すメッセージです。調査票開発時に組み込むものではありません。

表 2-6 受付チェックメッセージ一覧

言語	メッセージ	内 容
日	調査票回答を受付できません。この調査票は既に回答済みです。	更新不可の場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. This questionnaire has already been answered.	
日	調査票回答を受付できません。回答更新可能な期限を過ぎています。	更新許可の場合に回答更新許可終了日を過ぎている場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. The reply renewable deadline has passed.	
日	調査票回答を受付できません。回答者が特定できません。	調査対象者情報を取得できなかった場合に使用します。
英	The questionnaire answers cannot be accepted. The answerer cannot be determined.	
日	調査票回答を受付できません。回答者は有効ではありません(2)。	現在日時が調査対象者の無効化実施時期以降の場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. Respondents are not valid (2).	
日	調査票回答を受付できません。回答対象外の調査票回答です。	調査対象者タイプが特定済又は特定完の場合に調査回答者情報を取得できなかった場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. It is an answer questionnaire answer out of the answer answer.	
日	調査票回答を受付できません。回答対象外の統計調査です。	回答者と送信者の政府統計コードが異なる場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. It is a statistical survey excluded from answer.	
日	調査票回答を受付できません。管理情報が不正です。	調査票回答情報(管理情報)に 1 つでも空文字が存在した場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. Management information is invalid.	
日	調査票回答を受付できません。この統合 ID では回答対象外の電子調査票です(1)。	統合 ID でログインし、回答者の政府統計コードが取得できない場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. This integrated ID is an electronic questionnaire not covered by answers (1).	

日	調査票回答を受付できません。この統合 ID では回答対象外の電子調査票です(2)。	統合 ID でログインし、調査回答者情報が取得できなかった場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. This integrated ID is an electronic questionnaire not covered by answers (2).	
日	この調査票回答は受付できません(1)。	調査票実施時期情報が取得できなかった場合に使用します。
英	We can not accept this questionnaire answer (1).	
日	この調査票回答は受付できません(2)。	オンライン調査システムにアップロードした電子調査票情報が取得できなかった場合に使用します。
英	We can not accept this questionnaire answer (2).	
日	この調査票回答は受付できません(3)。	提出期限情報が取得できなかった場合に使用します。
英	We can not accept this questionnaire answer (3).	
日	この調査票回答は受付できません(5)。	回答回数が最大更新回数に達している場合に使用します。
英	We can not accept this questionnaire answer (5).	
日	この調査票回答は受付できません(6)。	連絡先情報更新処理でエラーが発生した場合に使用します。
英	We can not accept this questionnaire answer (6).	
日	この調査票回答は受付できません(11)。	調査票実施時期情報を取得できなかった場合に使用します。
英	We can not accept this questionnaire answer (11).	
日	この調査票回答は受付できません(12)。	電子調査票情報が取得できなかった場合に使用します。
英	We can not accept this questionnaire answer (12).	
日	この調査票回答は受付できません(16)。	回答データの XML 変換に失敗した場合に使用します。
英	We can not accept this questionnaire answer (16).	
日	調査票回答を受付できません。調査票回答を特定できません(2)。	調査対象者タイプが未特定の場合に回答対象調査票情報が取得できなかった場合に使用します。

英	We can not accept questionnaire responses. We can not identify the questionnaire answer (2).	
日	調査票回答を受付できません。調査票回答を特定できません(3)。	調査対象者情報を取得できなかった場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. We can not identify the questionnaire answer (3).	
日	調査票回答を受付できません。調査票回答を特定できません(4)。	調査対象者タイプが特定済又は特定完の場合に回答者のキー項目と調査対象者情報のキー項目が一致しない場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. We can not identify the questionnaire answer (4).	
日	調査票回答を受付できません。調査票回答を特定できません(6)。	担当機関が取得できなかった場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. We can not identify the questionnaire answer (6).	
日	調査票回答を受付できません。調査票回答を特定できません(16)。	担当機関が取得できなかった場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. We can not identify the questionnaire answer (16).	
日	連絡先情報の登録ができません。回答対象となる調査票が特定できません(1)。	調査対象者 ID 文字列の桁数が回答対象者調査票識別情報の終了桁未満の場合に使用します。
英	Contact details cannot be registered. The questionnaire to be answered cannot be determined (1).	
日	連絡先情報の登録ができません。回答対象となる調査票が特定できません(5)。	提出期限情報が取得できない場合に使用します。
英	Contact details cannot be registered. The questionnaire to be answered cannot be determined (5).	
日	連絡先情報の登録ができません。回答対象となる調査票が特定できません(6)。	調査票実施時期情報が取得できなかった場合に使用します。
英	Contact details cannot be registered. The questionnaire to be answered cannot be determined (6).	
日	連絡先情報の登録ができません。統計調査が見つかりません。再度ログイン操作を行ってください。	統計調査情報が取得できなかった場合に使用します。
英	Contact details cannot be registered. The statistical survey cannot be found. Please log in again.	
日	調査票回答を受付できません。提出期限を過ぎています。	最終提出期限を過ぎている場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. The submission deadline has passed.	

日	調査票回答を受付できません。本調査票はまだ回答することができません。	現在日時が電子調査票公開日より前の場合に使用します。
英	The questionnaire answers cannot be accepted. This questionnaire cannot be answered now.	
日	調査票回答を受付できません。本調査票はまだ回答を更新することができません。	更新許可の場合に回答更新許可開始日より前の場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. This survey form can not update the answer yet.	
日	調査票回答を受付できません。「お問い合わせ先」へ連絡してください(1)。	調査対象者情報更新に失敗した場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. Please contact "Inquiries" (1).	
日	キー項目が違います。回答対象とする調査票を特定できません。	回答対象調査票情報が取得できなかった場合に使用します。
英	The key items are different. The questionnaire to be answered cannot be determined.	
日	調査票回答を受付できません。回答者は有効ではありません(1)。	現在日時が調査対象者の有効化期間より前の場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. Respondents are not valid (1).	
日	調査票回答を受付できません。調査票回答を特定できません(1)。	調査対象者タイプが未特定の場合に回答対象者調査票識別情報が取得できなかった場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. We can not identify the questionnaire answer (1).	
日	この調査票回答は受付できません(4)。	更新の有無情報取得処理が失敗した場合に使用します。
英	We can not accept this questionnaire answer (4).	
日	調査票回答を受付できません。回答対象者調査票識別コードをキー項目から取得できません。	調査対象者タイプが未特定の場合に回答対象者調査票識別コードをキー項目から取得する場合に使用します。
英	We can not accept questionnaire responses. Answer subject Questionnaire tag ID code can not be obtained from the key field.	

(3) 回答受付メール

調査回答者が、オンライン調査システムで回答を送信した場合、オンライン調査システムから調査対象者へ回答を受付けた旨のメールが送信されます。以下の表は送信する受付完了通知メールの一覧です。※システムから自動的に返すメッセージです。調査票開発時に組み込むものではありません。

表 2-7 受付完了通知メール一覧

一括	受付状況	言語	件名
			本文
-	成功	日	<p><オンライン調査システム>調査票回答の受付状況</p> <p>統計調査名：[統計調査名] 実施時期：[実施時期名称] 調査票名：[調査票名称] 調査対象者 ID：[調査対象者 ID] キー項目：[キー項目] 受付番号：[受付番号] 受付結果：[受付結果]</p> <p>-----</p> <p>※本メールはシステムより自動送信されています。 返信はしないでください。 [MailID:[メール管理番号]]</p>
		英	<p><Online investigation system>Acceptance completion of investigation vote answer</p> <p>The answer of the investigation vote was received and applied in the much more about the following investigation.</p> <p>Statistical investigation name：[統計調査名] Time：[実施時期名称] Investigation vote：[調査票名称] ID：[調査対象者 ID] Key：[キー項目] Receipt number：[受付番号] Acceptance result：[受付結果]</p> <p>-----</p> <p>※This E-mail is being transmitted by the system automatically. Please do not reply. [MailID:[メール管理番号]]</p>
-	失敗	日	<p><オンライン調査システム>正常に受付されませんでした</p> <p>正常に受付されませんでした。 下記「受付結果」を確認してください。</p> <p>統計調査名：[統計調査名] 実施時期：[実施時期名称] 調査票名：[調査票名称] 調査対象者 ID：[調査対象者 ID]</p>

一括	受付状況	言語	件名
			本文
			<p>キー項目：[キー項目] 受付番号：[受付番号] 受付結果：[受付結果]</p> <p>-----</p> <p>※本メールはシステムより自動送信されています。 返信はしないでください。 [MailID:[メール管理番号]]</p>
		英	<p><Online investigation system>It was not accepted normally</p> <p>It was not accepted normally. Please check the "Acceptance result" below.</p> <p>Statistical investigation name：[統計調査名] Time：[実施時期名称] Investigation vote：[調査票名称] ID：[調査対象者ID] Key：[キー項目] Receipt number：[受付番号] Acceptance result：[受付結果]</p> <p>-----</p> <p>※This E-mail is being transmitted by the system automatically. Please do not reply. [MailID:[メール管理番号]]</p>
一括	成功	日	<p><オンライン調査システム>回答の一括登録受付状況</p> <p>統計調査名：[統計調査名]</p> <p>実施時期,調査票名,調査対象者ID,キー項目,受付番号,受付結果 [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果]</p> <p>-----</p> <p>※本メールはシステムより自動送信されています。 返信はしないでください。 [MailID:[メール管理番号]]</p>
		英	<p><Online investigation system>Batch registration receipt completion of answer</p> <p>The answer of the investigation vote was received and applied in the much more about the following investigation.</p> <p>Statistical investigation name：[統計調査名]</p>

一括	受付状況	言語	件名
			本文
			<p>Time,Investigation vote,ID,Key,Receipt number,Acceptance result [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果]</p> <p>-----</p> <p>※This E-mail is being transmitted by the system automatically. Please do not reply. [MailID:[メール管理番号]]</p>
一括	失敗	日	<p><オンライン調査システム>いくつかの調査票が正常に受付されませんでした</p> <p>いくつかの調査票が正常に受付されませんでした 下記の「受付結果」を確認してください。</p> <p>統計調査名：[統計調査名]</p> <p>実施時期,調査票名,調査対象者 ID,キー項目,受付番号,受付結果 [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果]</p> <p>-----</p> <p>※本メールはシステムより自動送信されています。 返信はしないでください。 [MailID:[メール管理番号]]</p>
		英	<p><Online investigation system>Several questionnaires were not accepted normally</p> <p>Several questionnaires were not accepted normally. Please check the "Acceptance result" below.</p> <p>Statistical investigation name : [統計調査名]</p> <p>Time,Investigation vote,ID,Key,Receipt number,Acceptance result [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果] [実施時期名称],[調査票名称],[調査対象者 ID],[キー項目],[受付番号],[受付結果]</p> <p>-----</p>

一括	受付 状況	言語	件 名
			本 文
			※This E-mail is being transmitted by the system automatically. Please do not reply. [MailID:[メール管理番号]]

※[斜体]: 状況に応じ、設定するメッセージが動的に変わるデータ

(4) エラー処理

HTML 調査票でエラーが発生した場合、ページ遷移は行いませんが、該当する項目の背景色を設定した色に変更することが可能です。

(5) 回答データ送信処理

回答データをサーバに送信します。送信前には、JavaScript で設定したルールに従い回答データのチェックを行い、正常な場合のみ送信します。

2.2.4 電子調査票テンプレート

HTML 調査票にはテンプレートを用意していませんが、運用管理機関から共通関数が定義された JavaScript ファイルとサンプルの HTML 調査票を提供します。

3 調査票の電子化における留意点

調査票の電子化における各種の留意事項についてまとめます。

3.1 タグ

タグについては以下の命名ルール及びXMLの仕様にのっとり共通的なタグとしてください。

3.1.1 命名ルール

(1) 構成

- 項目をあらわす文言を判りやすく半角小文字の英字及び半角の数字で命名します。(10文字前後をめぐりにあまり長くないように)
- 日本語タグは使用しないでください。
- ヘボン式ローマ字を使用して命名します。
- 命名時、必要に応じて項目の種類をあらわす単語を“_”を付加して繋げます。
Ex. “honsha_id”、“jigyosho_cd”、“jigyosho_mei”
- 命名に使用する文字は半角小文字の英字及び半角の数字のみとします。
- 修正や変更を考慮して、一意になるようにタグ名を命名します。
- タグ名は、オンライン調査システム内部で、以下の要領で管理されます。
- 例：〈回答項目タグ名〉 → online.chosa.kaito.回答項目タグ名
- 管理可能なサイズは最大64バイトです。タグ名の長さに留意してください。
- XMLの仕様により、タグ名は数字から始まるものは使用できません。

(例)

- <1shimei> → 使用不可
- <shimei1> → 使用可

表 3-1 単語一覧

項目名	タグ名
ID	ld
コード	cd
名称	mei
郵便番号	yubin
住所	addr
電話番号	tel
年月日	yymmdd
年月	yymm
額	gaku
数量	suryo

(2) 付加規定

- 表 3-2 にタグ例を用意しているのので、通常はこちらを参考にして分類しやすいタグ名をつけてください。
- 各調査実施機関であらかじめ命名ルールがあればそちらを使用してください。

表 3-2 タグ例

項目名	タグ名
都道府県番号	ken_cd
市区町村番号	shiku_cd
氏名	shimei
性別	seibetsu
年齢	nenrei
調査年月日	chosa_yymmdd
調査年月	chosa_yymm
調査月	chosa_mm
企業	kigyo
企業名	kigyo_mei
企業所在地	kigyo_addr
事業所	jigyosho
事業所名	jigyosho_mei
事業所所在地	jigyosho_addr
本店	honten
支店	shiten
本社	honssha
支社	shisha
支社名	shisha_mei
支社所在地	shisha_addr
担当者氏名	tantosha_mei
担当者部署	tantosha_busho
作成者氏名	sakusei_mei
作成者部署	sakusei_busho
連絡先電話番号	renraku_tel
品コード	hin_cd
品名	hin_mei
仕入額	shire_gaku
売上額	uriage_gaku
仕入数量	shire_suryo
売上数量	uriage_suryo
人数	ninzu
合計	gokei

3.1.2 タグ説明

(1) 入力タグについて

- 4.1.2(3)入力形式の選定を参照して入力形式を採用します。

3.2 制限事項等

3.2.1 カーソル移動について

- セル移動の際は、基本的に Tab キーを利用してください。
- ラジオボタン内のカーソル移動の場合は、左右矢印のボタンを利用してください。
- Enter キーによるセル移動はできません。
- 数値入力欄で無記入を認めない場合、Tab キーでカーソル移動した際、空欄の場合は「0」等が入るようにしてください。また、該当欄で自動計算のプログラムを入れる場合、数値の入力欄に「-」やセルの書式設定など、数値以外は入力できないようにしてください。

3.2.2 チェックボックスの表示について

- HTML 調査票の場合、選択した時のマークはブラウザ依存となります。

3.2.3 数値の表現について

- 数値は、一般的な3桁ごとのカンマ区切りによる表示もできます。

3.2.4 文字コードについて

(1) 回答データの送信

サーバへ送信する回答データの文字コードは統計調査の設定によって異なります。また、回答データとして一部の半角記号（「&」「<」「>」「“」「,」）は使用できません。

表 3-3 送信回答データの文字コード

送信形式	タグ名
CSV ファイル	可変 (Shift_JIS/UTF-8)
XML ファイル	UTF-8
フォームデータ	UTF-8

(2) 回答データの取得

サーバより取得する納品回答データの文字コードは、出力形式及び統計調査の設定により異なります。また、改行コードは CR+LF となり、XML 仕様に準拠した形式にエスケープされます。

表 3-4 納品回答データの文字コード

ファイル形式	タグ名
CSV ファイル	可変 (Shift_JIS/UTF-8)
JSON ファイル	可変 (Shift_JIS/UTF-8)
XML ファイル	UTF-8
固定長ファイル	可変 (Shift_JIS/UTF-8)

表 3-5 改行コードのエスケープ

改行コード	エスケープ変換後
CR	

LF	

(3) HTML ファイル

- HTML 調査票の文字コードは UTF-8 とします。
- フォームデータの文字コードは必ず「UTF-8」で送信してください。オンライン調査システムのデータベースは UTF-8 で構成されています。異なる文字コードで送信した場合、回答データが文字化けして格納されてしまう恐れがあります。

3.2.5 エスケープ文字について

- 改行コードを含め、エスケープされる文字は XML 仕様に準拠した形式とします。オンライン調査システム独自のエスケープ処理は実施しておりません。
- 一般的なエスケープ対象として以下が該当します。
「<」、「>」、「&」、「'」、「"」

3.2.6 プレプリント文字数について

- プレプリントは電子調査票を初回表示したときのみ反映されます。以下の操作では反映されません。
- 客体がプレプリントの箇所を削除して空欄で送信する。
- 客体が回答送信後に調査回答者情報のプレプリントを変更する
- プレプリント文字数については、1024 文字以下としてください。1025 文字以上とする場合は、プレプリント情報を分割し、プレプリントされた文字を連結してください。

3.2.7 項目数について

- 回答データの項目数（タグ数）の上限は 9999 ですが、項目数が多い電子調査票はオンライン調査システムにおける操作のパフォーマンスに大きく影響します。調査項目が多い調査票（数千項目）については、ひとつのタグで複数回答項目を管理する等の工夫を行い、回答データのタグ数を減らす必要があります。

3.2.8 データの多重送信について

- 回答の一括登録以外の方法（送信ボタンの 2 度押し等）で調査票回答を一度に多数送信すると、回答データが正常に受付られない場合があります。
- HTML 調査票は、一時回答取得、一時回答保存、ページ送り、回答データ送信のいずれかの処理を一度に多数実行した場合、データが正常に受付られない場合があります。
- 仕様として通常送信されないフォームデータを補完する処理（addHiddenParam）が組み込まれていますので、通信の中断等により処理を複数回実行すると補完処理が重複して実施され、多重送信と同様の事象が発生します。サーバとの通信を伴う処理（submit）を妨げないように組み込みしてください。
- データの多重送信を防ぐ仕組みを必ず組み込んでください。

3.2.9 調査票のファイル名について

- 電子調査票が複数ページ（複数の HTML ファイル）となる場合、ファイル名に固定長 2 桁のページ番号を付与してください。

[任意の名称] + [_99] + [.html]

図 3-1 複数ページの HTML 調査票のファイル名形式

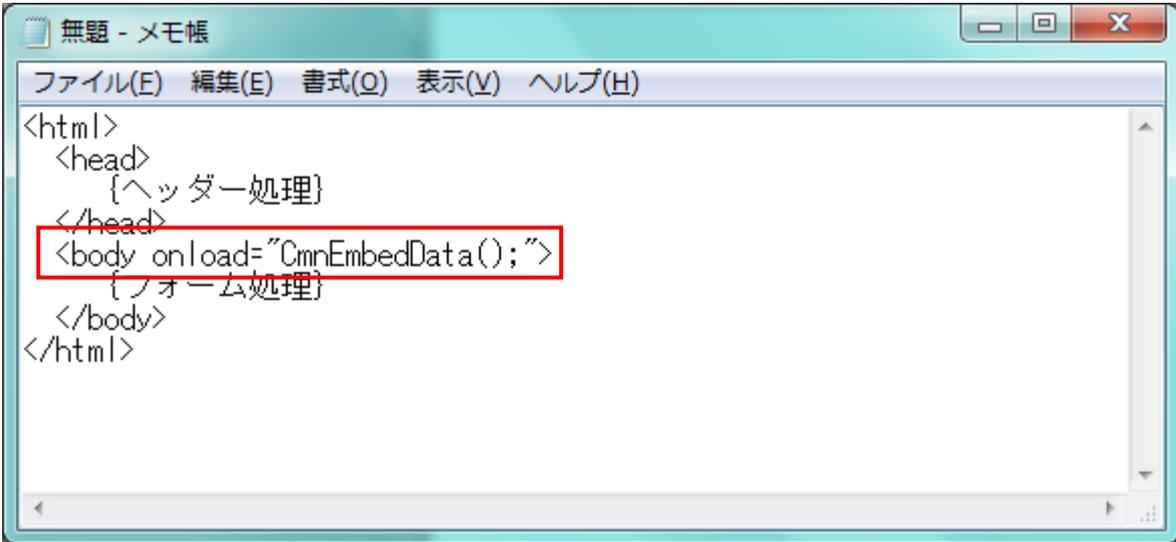
- 1 ページ目となるファイルについては、「任意の名称_01.html」としてください。

3.2.10 フォームのプロパティについて

- form タグは1 ファイルに対し1 つのみとなります。
- form タグの onsubmit
- it 属性には、"return false"と記述してください。
※レスポンス対応版 HTML 調査票サンプルでは不要です

3.2.11 HTML タグについて

- ラジオボタンを除く HTML タグについては name 属性を一意に付与してください。セレクトボックス及びリストボックス（select タグ）で multiple 属性を付与しないでください。
- head タグは、必ず記載してください。
- body タグの中に、onload 属性で共通関数 CmnEmbedData の呼び出しを記載してください。また、必ず head タグの終了タグより後ろに記載するようにしてください。CmnEmbedData の呼び出しを記載しない場合、回答情報の復元やサーバから送信されるメッセージの表示ができません。



```
無題 - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<html>
  <head>
    {ヘッダー処理}
  </head>
  <body onload="CmnEmbedData();" >
    {フォーム処理}
  </body>
</html>
```

図 3-2 CmnEmbedData サンプル

3.2.12 コンテンツファイルの指定方法について

- JavaScript ファイル、CSS ファイル、画像ファイルは、以下のフォルダ構成で相対パスにより指定を行ってください。HTML ファイルから指定を行う場合と、Javascript/CSS ファイルから指定を行う場合で指定方法が異なります。
- パスやファイルの指定は必ず「」（シングルクォーテーション）又は「」（ダブルクォーテーション）で囲ってください。
- 調査票回答入力用 HTML ファイルに記述された相対パスはオンライン調査システム上で機能するように置き換えてください。
- 相対パスは機能しないため js ファイルや css ファイルには記述しないでください。
- パス変換の例
 変換前：“./css/chosahyo.css”
 変換後：“（オンライン調査システムのパス） / （政府統計コード（簡略）） / （電子調査票 ID+実行環境） / css/chosahyo.css?reqNo=xxxxxxx”

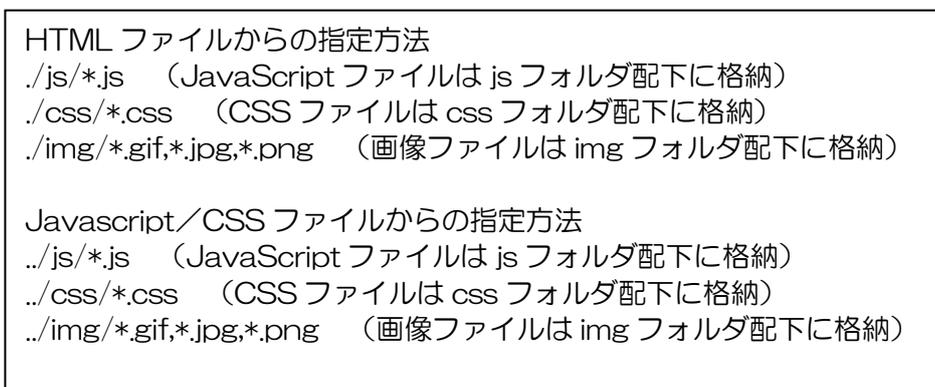


図 3-3 コンテンツファイルの指定方法

3.2.13 レスポンシブ Web デザイン対応版 HTML 調査票の開発における注意事項

レスポンシブ Web デザイン対応版 HTML 調査票は、以下の点が非対応版 HTML 調査票と異なります。

- html ファイルは HTML5.0 で記述します。回答の送信など、サーバへの送信が必要な項目は「4.2.2 フィールド情報の設定」に記載があるタグと属性のみ動作します。
- HTML 及び CSS 用デザインテンプレート（Bootstrap3）を利用します。

4 電子調査票開発手順

電子調査票は以下に示す手順に沿って開発します。

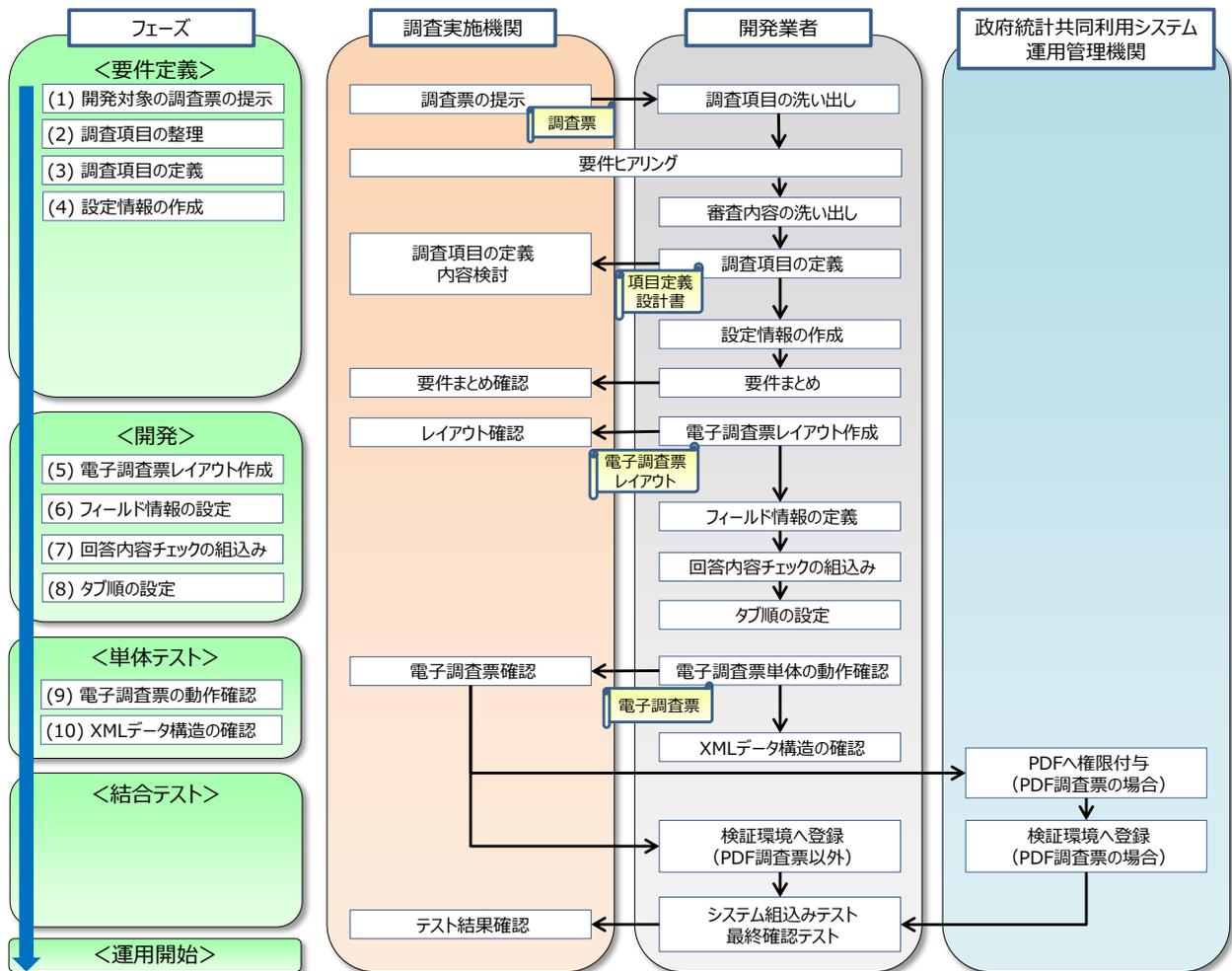


図 4-1 電子調査票開発手順概要

4.1 要件確定フェーズ

ここでは、電子調査票を開発するために必要な要件を確定します。

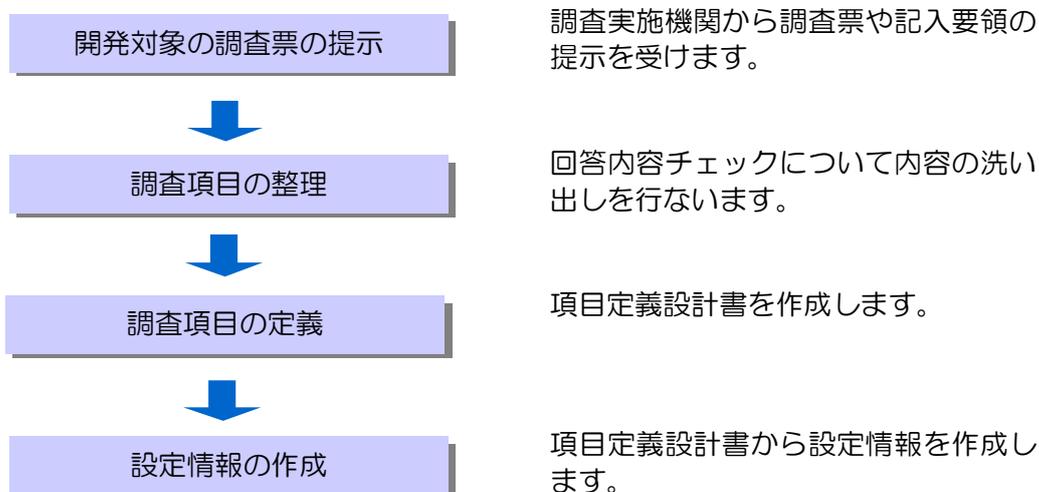


図 4-2 作業手順

4.1.1 開発対象の調査票の提示

開発対象の調査票について、調査実施機関から調査票、記入要領を提示していただきます。

4.1.2 調査項目の整理

提示された開発対象の調査票について、調査項目の洗い出しと項目入力形式の選定を行います。

(1) 調査項目の洗い出し

現行の調査票を基に調査項目を洗い出します。その際、調査項目以外で、オンライン調査を行うに当たり必要となる項目も合わせて検討し、項目定義設計書に記入します。その時入力するフィールドタイプと表 4-1 フィールドの種類と用途を参考に決定しておきます。

(2) 審査内容の洗い出し

電子調査票入力時に行なう回答内容チェックについて審査内容を洗い出します。

(3) 入力形式の選定

項目定義設計書に記入した項目に対して入力形式の選定を、表 4-1 フィールドの種類と用途を参考に決定します。

各フィールドの詳細については4.2 開発フェーズで説明します。

表 4-1 フィールドの種類と用途

フィールド	帳票設計の用途説明	レイアウト作成時のポイント
テキストフィールド	企業名や住所等の漢字を入力する場合や、電話番号、郵便番号等にこのフィールドを使用します。	レイアウトを作成するときに入力で必要な幅を確保する必要があります。複数行の入力も行う事が可能です。
チェックボックス	複数の項目を選択する事が必要な場合にこのフィールドを使用します。	設定する項目が多い場合はチェックボックスの間隔が狭くならないようにする必要があります。 スマートフォンやタブレットではデフォルトのチェックボックスはタップしづらく、label タグを使って選択しやすくする、CSS の属性を変えるなど、レスポンシブに対応する必要があります。
ラジオボタン	複数の選択項目から、値をひとつだけ選択させる場合に使用します。例えば性別、続柄、最終学歴等、項目数が比較的少ない数で決まっている場合で、内容表示を行う領域が十分にある場合に有効です。	選択項目数が多いと設計する領域が多く必要となりますので、選択項目は、5～10個くらいを目安にして、多くなるようであればセレクトボックスを使うことも検討してください。 スマートフォンやタブレットではデフォルトのラジオボタンはタップしづらく、label タグを使って選択しやすくする、CSS の属性を変えるなど、レスポンシブに対応する必要があります。
セレクトボックス	複数の選択項目から、値をひとつだけ選択させる場合に使用します。例えば都道府県などデータの多い場合で、内容表示を行う領域が少ない場合に有効です。	選択項目数が多くても、設計する領域はあまり必要としないため、使用できる領域とデザインにより検討し、必要であればラジオボタン、リストボックスを使うことも検討してください。
リストボックス	複数の選択項目から、値をひとつだけ選択させる場合に使用します。例えば性別、続柄、最終学歴等、項目数が比較的少ない数で決まっている場合で、内容表示を行う領域が十分にある場合に有効です。	選択項目数が多いと設計する領域が多く必要となりますので、選択項目は、5～10個くらいを目安にして、多くなるようであればセレクトボックスを使うことも検討してください。

4.1.3 調査項目の定義

次の内容について、項目定義設計書にまとめます。

(1) 項目定義設計書

電子調査票情報や各回答欄の属性情報（入力の必須・任意の別、文字型、最大文字数など）を定義します。項目定義設計書を作成する際、機種依存文字は使用しないでください。

項目定義設計書（システム登録情報）										作成日	Revision														
統計調査名称										更新日	作成者														
政府統計コード										電子調査票ID		電子調査票名	電子調査票名（英）												
タグ名重複チェック		シート名、セル位置重複チェック(Excel調査票用)		XML構造確認シート作成		システムテスト支援(チェックシート作成)		Excelテンプレート作成		システム登録情報(CSVファイル)の作成															
<注意事項> ・グレーのセルは修正不可の欄です。 ・各項目の見出しセルにカーソルを合わせると、当該項目の説明が表示されます。										(※1) タグ階層レベル3不使用の場合必須です。 (※2) 回答データをCSV形式又は固定長テキスト形式で作成する場合のみ必須です。 (※3) Excel調査票の場合は必須です。															
システムに登録する情報										システムに登録しない情報 (電子調査票を設計する際に考慮する項目)															
項目番号 (必須)	タグ階層レベル1 (必須)	タグ階層レベル2 (※1)	タグ階層レベル3	項目名 (必須)	タグ名 (必須)	調査票への表示 (必須)	文字の種類 (必須)	最大文字数 (必須)	入力必須	回答データ出力順 (※2)	シート名 (※3)	セルの位置 (※3)	フィールド種類	タブ順	読取専用	桁よせ	文字サイズ	小数桁数	複数行入力	桁数チェック	プレ・プリント	選択肢		初期値	備考欄
																						名称	値		
1	1			事業者認定情報格納エリア	taishosha_cer	-	-	-	-				サブフォーム	-	-	-	-	-	-	-	-				
8	2			管理情報格納エリア	kanri	-	-	-	-				サブフォーム	-	-	-	-	-	-	-	-				
14	3			連絡先情報格納エリア	renraku	-	-	-	-				サブフォーム	-	-	-	-	-	-	-	-				
41	4			調査票回答格納エリア	kaito	-	-	-	-				サブフォーム	-	-	-	-	-	-	-	-				
42		1		氏名	shimei	○	全角	20	○	1			テキストフィールド	-	-	左	12	-	-	-	-				
43		2		性別	seibetsu	○	英数	1	○	2			ラジオボタン	-	-	-	12	-	-	-	-	男性	1	○	
44																						女性	2		
45		3		血液型	ketsueki	○	英数	1	-	3			リストボックス	-	-	-	12	-	-	-	-	A型	1	○	
46																						B型	2		
47																						O型	3		
48																						A B型	4		
49		4		年齢	nenrei	○	半角	2	-	4			テキストフィールド	-	-	左	12	-	-	-	-				

図 4-3 項目定義設計書

① 電子調査票情報

電子調査票の管理情報として以下の項目を記載します。

表 4-2 電子調査票情報一覧

作業分類	作業内容
統計調査名称	当該統計調査の名称を記入します。
政府統計コード	電子調査票の政府統計コードを記入します。
電子調査票 ID	電子調査票の ID を記入します。
電子調査票名	電子調査票の日本語名称を記入します。
電子調査票名 (英)	電子調査票の英語名称を記入します。

② 回答欄属性情報

電子調査票の回答欄の属性として定義すべき項目を以下の表に示します。サーバ連携項目に関しては、項目定義設計書のテンプレートにあらかじめ設定されます。

項目定義設計書から設定情報の作成を行うため、項目の変更があった場合には「取り消し線」等は使用せずに、不要な行は必ず削除するようにしてください。

表 4-3 項目定義一覧

作業分類	作業内容
項目番号	各行に一意になるように番号を記入します。連番とすることを推奨します。項目番号 41 までは、システム関連情報があらかじめ設定されています。調査項目は項目番号 42 から開始してください。
タグ階層レベル 1	項目定義設計書には、大きく分けて 4 種類の情報（調査対象者認証情報、管理情報、連絡先情報、調査票回答）を定義しますが、この欄に記入した数字によって、それぞれの情報の開始を表します。 1：調査対象者認証情報の項目開始 2：管理情報の項目開始 3：連絡先情報の項目開始 4：調査票回答の項目開始 この欄は修正不可です。
タグ階層レベル 2	項目番号 42 以降の調査票回答の項目について、半角数字で連番を記入します。
タグ階層レベル 3	調査票回答の項目をグルーピングしたい場合に利用します。1 種類のタグ階層 2 の中で半角数字で連番を記入します。
項目名	調査票項目の日本語名称を記入します。全角かな、半角英数、半角カナで最大 64 バイトかつ 32 文字以内で記入します。
タグ名	回答データに付与されるタグ名を命名ルールに則って記入します。なお、タグ名は、オンライン調査システム内部で、以下の要領で管理されます。 例：〈回答項目タグ名〉 → online.chosa.kaito.回答項目タグ名 管理可能なサイズは最大 64 バイトです。タグ名の長さには留意し、半角英数で記入してください。
調査票への表示	該当項目を電子調査票に表示するか、表示しないかを記入します。 ・表示する場合：○(通常) ・表示しない場合：-
文字の種類	テキストフィールドに入力可能な文字を制限します。 ・半角文字のみ入力可能：半角 ・半角数字のみ入力可能：数字 ・半角英数字のみ入力可能：英数 ・全角文字のみ入力可能：全角 ・全角カナのみ入力可能：カナ ※テキストフィールド以外：-
最大文字数	最大文字数を半角数字で記入します。小数点・符号・改行コードも 1 文字と数えます。 ※テキストフィールド以外：-
回答データ出力順	調査対象者が回答送信後、DB に登録された調査票回答について、CSV 形式又は固定長テキスト形式で回答データを作成する場合の、回答項目の出力順を半角数字で記入します。回答データを CSV 形式又は固定長テキスト形式で回答データを作成する場合のみ必須です。
シート名	Excel 調査票の場合のみ必須です。項目を紐付ける Excel 調査票のシート名を指定します。また、プレプリントを行う場合も、プレプリントを出力するシート名を設定します。 例：Sheet1 ※シート名には、「”」（ダブルコーテーション）は使用しないでください。
セルの位置	Excel 電子調査票の場合のみ必須です。項目を紐付ける Excel 調査票のセルの位置を指定します。また、プレプリントを行う場合も、プレプリントを出力するセルの位置を指定します。 例：A1

作業分類	作業内容
フィールド種類	フィールド種類を記入します。 使用可能なフィールド種類 ・テキストフィールド：文字の入力 ・チェックボックス：複数選択 ・ラジオボタン：単一選択 ・リストボックス：単一選択
タブ順	タブの順番を指定します。
読取専用	読み取り専用（入力不可）かどうかを記入します。 ・読取専用：○ ・書込可能：-（通常）
入力必須	必須入力、未入力時アラーム表示、任意入力の別を記入します。 ・必須入力：○ ・未入力時アラーム表示：△ ・任意入力：-
桁よせ	左寄せ：左 中央：中 右寄せ：右 指定なし：- を記入します。
文字サイズ	文字サイズを入力します。通常は 12 ポイント、最小フォントは 8 ポイントとします。入力フィールドのサイズと最大文字数から決定します。
小数桁数	小数点以下の桁数を記入します。
複数行入力	・フィールド内改行有：○ ・フィールド内改行無：-
桁数チェック	最大文字数まで入力されているかの審査を実施するかどうかを記入します。フィールド種類が「テキストフィールド」の場合に設定します。 ・実施する：○ ・実施しない：-
プレプリント	プレプリントを実施するかどうかを記入します。 ・プレプリントする：○ ・プレプリントしない：-
選択肢（名称）	ラジオボタン又はリストボックスに表示される選択肢の文言を記入します。
選択肢（値）	ラジオボタン又はリストボックスの際に、選択肢(名称)に紐付けられる値を記入します。ラジオボタンの場合は数字のみ可能です。
初期値	ラジオボタン又はリストボックスの場合 ・初期値とする選択肢の行に○ チェックボックスの場合 ・ON：○ ・OFF：-
備考欄	必要に応じて、調査票開発時の留意点や、その他の補足事項、調査票に表記する事項などの記載に利用してください。

なお、固定長形式で回答データを作成するときは、テキストタイプ欄と最大文字数欄により、以下のように作成されます。

■数字 前0埋め

例：テキストタイプ「数字」/最大文字数「5」/XML上のデータ「123」の場合
「00123」と出力されます。

■英数 後ろスペース埋め

例：テキストタイプ「英数」/最大文字数「5」/XML上のデータ「1AB2」の場合
「1AB2_」と出力されます。_は半角スペース

■全角 後ろ全角スペース埋め

例：テキストタイプ「全角」/最大文字数「5」/XML上のデータ「あいうえ」の場合
「あいうえ_」と出力されます。_は全角スペース

（注）

- 改行文字はスペースで置き換えられます。
- ラジオボタン、セレクトボックス及びチェックボックスの文字の種類については、以下を記入してください。

ラジオボタン 数字

セレクトボックス 英数

チェックボックス 数字

③ タグ重複チェック

- 概要

項目定義設計書の「タグ名重複チェック」ボタンをクリック後、同じブック内に「重複チェック結果(×月×日)」シートが作成されます。

項目のタグ名と日本語名の重複チェック及びタグ名に含まれる大文字のチェックを行う場合に使用します。

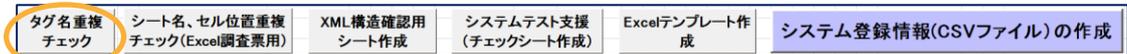


図 4-4 項目定義書のボタン

	A	B	C	D	E	F	G	H
8								
9		タグ名重複チェックエラー						
10		日本語名重複チェックエラー						
11		大文字チェックエラー						
12								
13	1	taishosha_cer	○	○		対象者認証情報格納エリア	○	
14	2	cer_toke_cd	○	○		認証統計調査コード	○	
15	3	cer_taishosha_id	○	○		認証調査対象者ID	○	
16	4	cer_kakunin_cd	○	○		確認コード	○	
17	5	toke_cd_36	○	○		統計調査コード	×	
18	6	soshin1	×	○		送信先URL1	○	
19	7	soshin1	×	○		送信先URL2	○	
20	8	Kanri	○	×		管理情報格納エリア	○	
21	9	toke_cd	○	○		統計調査コード	×	
22	10	jiki_cd	○	○		実施時期コード	○	
23	11	taishosha_id	○	○		調査対象者ID	○	
24	12	chosahyo_id	○	○		電子調査票ID	○	

図 4-5 重複・大文字チェック結果

④ システム登録情報(CSV ファイル) の作成

- 概要

項目定義設計書の システム登録情報(CSV ファイル)の作成]ボタンをクリック後、任意のフォルダにデータ連携用の CSV ファイルの出力を行います。

出力された CSV ファイルを、項目定義設計書と併せて納品します。

本ファイルは、オンライン調査システムに電子調査票を登録する際に利用します。各項目の内容は、表 4-4のとおりです。

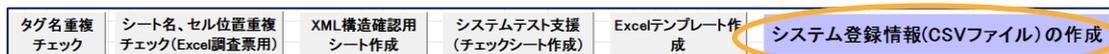


図 4-6 項目定義書のボタン

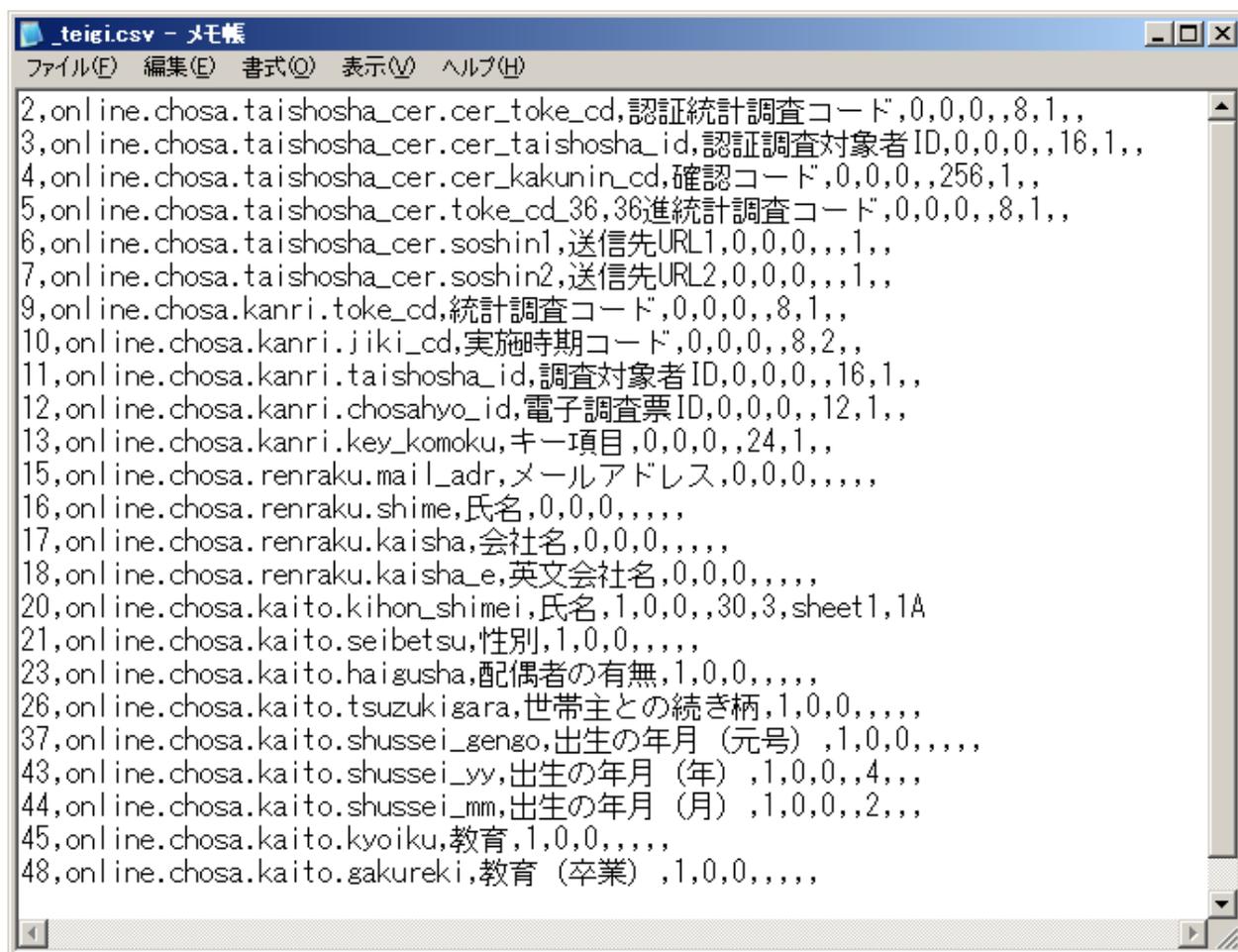


図 4-7 生成 CSV ファイル

表 4-4 項目定義情報ファイル

	項目	属性	必須	項目説明
1	項目番号	数字	○	各行に一意になるように番号を記入します。連番とすることを推奨します。項目番号 41 までは、システム関連情報があらかじめ設定されています。調査項目は項目番号 42 から開始してください。
2	タグ名	英数字	○	回答データに付与されるタグ名を命名ルールに則って記入します。なお、タグ名は、オンライン調査システム内部で、以下の要領で管理されます。 例：〈回答項目タグ名〉 → online.chosa.kaito.回答項目タグ名 管理可能なサイズは最大 64 バイトです。タグ名の長さに留意し、半角英数で記入してください。
3	項目名		○	調査票項目の日本語名称を記入します。全角かな、半角英数、半角カナで最大 64 バイトかつ 32 文字以内で記入します。
4	調査票への表示	数字		該当項目を電子調査票に表示するか、表示しないかを記入します。 対象である場合、値 1 を設定する。
5	予備項目	-	-	本項目はシステムの予備項目とし、通常この項目は使用できない
6	データ出力対象フラグ	数字		当該項目が回答データ作成時に出力対象である場合に設定します。 対象である場合、値 1 を設定する。
7	回答データ出力順	数字		調査対象者が回答送信後、DB に登録された調査票回答について、CSV 形式又は固定長テキスト形式で回答データを作成する場合の、回答項目の出力順を半角数字で記入します。回答データを CSV 形式又は固定長テキスト形式で回答データを作成する場合のみ必須です。
8	最大文字数	数字		最大文字数を半角数字で記入します。小数点・符号・改行コードも 1 文字と数えます。
9	文字の種類	数字		テキストフィールドに入力可能な文字を制限します。 1：半角文字（半角文字のみ入力可） 2：半角数字（半角数値のみ入力可、少数点入力可） 3：全角文字（全角／半角文字の入力可） 4：英数文字（半角英数字のみ入力可） 5：カナ文字（全角カナ／半角カナ文字のみ入力可） 未指定の場合は、デフォルトで値 3 とする。
10	シート名			Excel 調査票の場合のみ必須です。項目を紐付ける Excel 調査票のシート名を指定します。また、プレプリントを行う場合も、プレプリントを出力するシート名を設定します。 例：Sheet1 ※シート名には、「”」（ダブルコーテーション）は使用しないでください。
11	セルの位置	英数字		Excel 電子調査票の場合のみ必須です。項目を紐付ける Excel 調査票のセルの位置を指定します。また、プレプリントを行う場合も、プレプリントを出力するセルの位置を指定します。 例：A1
12	入力必須	数値		必須入力、任意入力の別を記入します。 1：任意 2：必須 未指定の場合は、デフォルトで値 1 とする。

⑤ XML 構造確認用シート作成

・ 概要

項目定義設計書の XML 構造確認用シート作成]ボタンをクリック後、同じブック内に XML 構造シートが作成されます。

※電子調査票で作成される回答データXMLの構造を確認する場合に使用します。



図 4-8 項目定義書のボタン

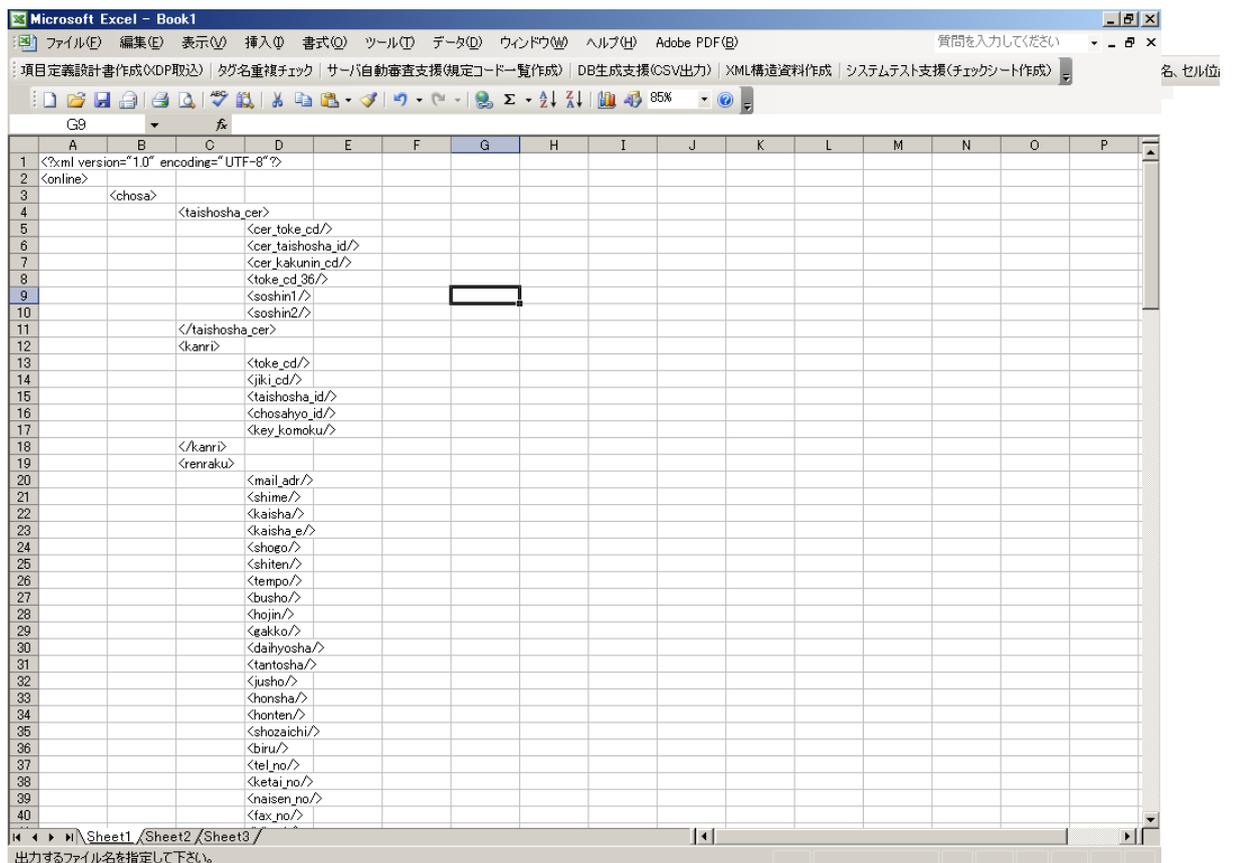


図 4-9 XML 構造確認用シート作成結果

⑥ 単体テスト支援(チェックシート作成)

- 概要

項目定義設計書の システムテスト支援(チェックシート作成)ボタンをクリック後、同じブック内にシステムテストチェックシートが作成されます。

タグ名重複チェック	シート名、セル位置重複チェック(Excel調査票用)	XML構造確認シート作成	システムテスト支援(チェックシート作成)	Excelテンプレート作成	システム登録情報(GSVファイル)の作成
-----------	----------------------------	--------------	----------------------	---------------	----------------------

図 4-10 項目定義書のボタン

1	A	B	C	D		E		F		G		H		I		J		K		L		M		N		O		P		Q		
				試験項目 1-1	試験項目 1-2	試験項目 1-3	試験項目 1-4	試験項目 1-5	試験項目 1-6	試験項目 1-7	試験項目 1-8	試験項目 1-9	試験項目 1-10	試験項目 1-11	試験項目 1-12	試験項目 1-13	試験項目 1-14	試験項目 1-15	試験項目 1-16	試験項目 1-17	試験項目 1-18	試験項目 1-19	試験項目 1-20	試験項目 1-21	試験項目 1-22	試験項目 1-23	試験項目 1-24	試験項目 1-25	試験項目 1-26		試験項目 1-27	
2	項番	フィールド種類	項目名	読取専用	確認欄	タブ順	確認欄	最大文字数	確認欄	桁よせ	確認欄	複数行入力	確認欄	初期表示(手書きで記入してください)	確認欄	コメント	確認欄															
3	1	小数点フィールド	提出年月(年)	○			-	2		右		-																		-		
4	2	小数点フィールド	提出年月(月)	-				2		右		-				提出月を入力してください																
5	3	小数点フィールド	精製アルミニウムの地金生産数量	-				7		右		-				精製アルミニウム地金の生産数量を入力してください																
6	4	小数点フィールド	精製アルミニウムの地金受入数量	-				7		右		-				精製アルミニウム地金の受入数量を入力してください																
7	5	小数点フィールド	精製アルミニウムの地金消費数量	-				7		右		-				精製アルミニウム地金の消費数量を入力してください																
8	6	小数点フィールド	精製アルミニウムの地金出荷販売数量	-				7		右		-				精製アルミニウム地金の出荷販売数量を入力してください																
9	7	小数点フィールド	精製アルミニウムの地金出荷販売金額	-				7		右		-				精製アルミニウム地金の出荷販売金額(千円)を入力してください																
10	8	小数点フィールド	精製アルミニウム地金その他	-				7		右		-				精製アルミニウム地金のその他を入力してください																
11	9	小数点フィールド	精製アルミニウム地金月末在庫	-				7		右		-				精製アルミニウム地金の月末在庫を入力してください																
12	10	小数点フィールド	アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)の生産数量	-				7		右		-				アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)の生産数量を入力してください																
13	11	小数点フィールド	アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)受入数量	-				7		右		-				アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)の受入数量を入力してください																
14	12	小数点フィールド	アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)の出荷販売数量	-				7		右		-				アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)の出荷販売数量を入力してください																
15	13	小数点フィールド	アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)の出荷販売金額	-				7		右		-				アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)の出荷販売金額(千円)を入力してください																
16	14	小数点フィールド	アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)のその他	-				7		右		-				アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)のその他を入力してください																
17	15	小数点フィールド	アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)の月末在庫	-				7		右		-				アルミニウム合金地金(鋳物・ダイカスト用)の月末在庫を入力してください																

図 4-11 システムテストチェックシート作成結果

⑦ Excel テンプレート作成

- 概要

項目定義設計書の Excel テンプレート作成ボタンをクリック後、任意のフォルダに回答データテンプレートファイルの出力を行います。

回答データテンプレートファイルを、HTML 電子調査票とともにオンライン調査システムに登録し、回答データダウンロード設定を「可」とすることにより、調査対象者が回答済み又は一時保存中の回答内容を PC にダウンロードすることができます。

※4.1.5 参照

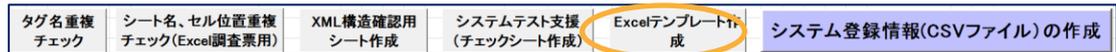


図 4-12 項目定義書のボタン

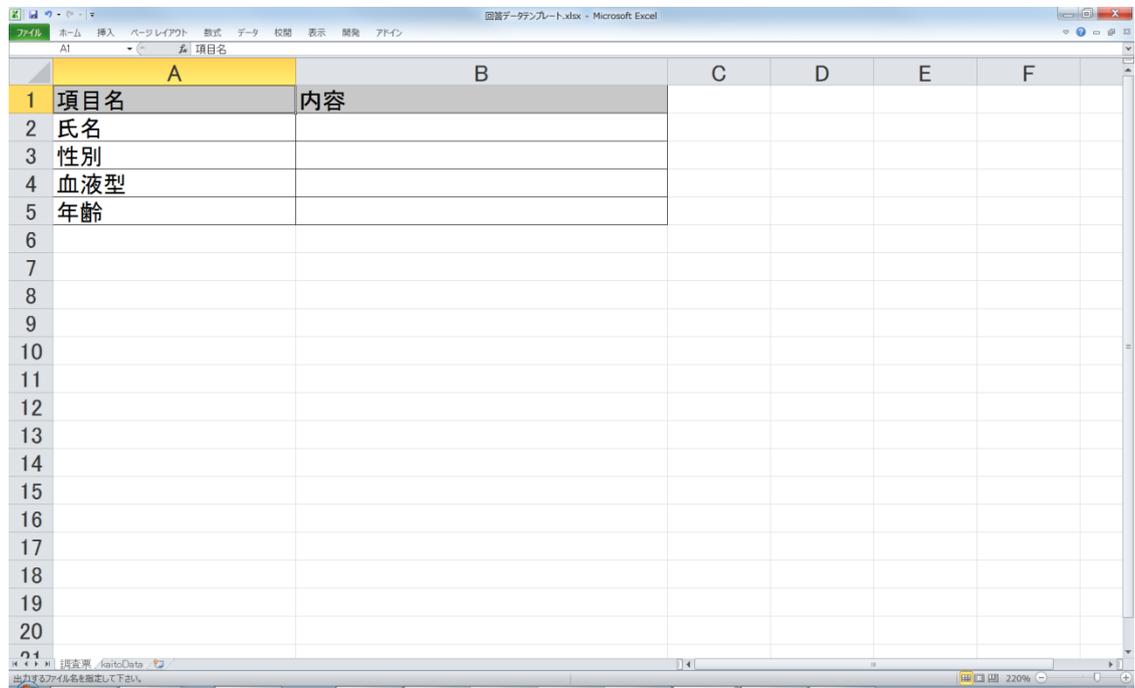


図 4-13 Excel テンプレート作成結果

4.1.4 設定情報の作成

項目定義設計書を基にオンライン調査システムの設定情報を作成します。

4.1.3 調査項目の定義④システム登録情報（CSV ファイル）の作成」における作業となります。

4.1.5 回答データテンプレートの作成

項目定義設計書を基にオンライン調査システムの回答データテンプレートを作成します。

4.1.3 調査項目の定義⑦Excel テンプレート作成」における作業となります。

当作業は、オンライン調査システムに電子調査票を登録する際、回答データダウンロードを「可」として定義する場合に限り、実施します。

※回答データダウンロードを「否」とする場合は、当作業は必要ありません。

調査対象者による回答データダウンロード実施時に出力される Excel 形式又は PDF 形式のファイルは、当テンプレートファイルのレイアウトを基に作成されます。

(1) テンプレートファイルのカスタマイズ

作成された回答データテンプレートをカスタマイズする際の注意事項を記載します。

① セル列幅の調整

「4.1.3 調査項目の定義⑦Excel テンプレート作成」において出力した規定のセル列幅の場合、回答内容の桁数によっては、セルの列幅が狭い場合がありますので、「調査票」シートの列の幅を、適宜、調整した上で保存してください。

なお、回答データダウンロード実施時に出力される PDF 形式のファイルについては、改ページが Excel 形式と同様にならない場合があります。

その場合、Excel テンプレートのセルの列幅を修正したうえで、再度回答データダウンロードをオンライン調査システムにて試行し、適切なページ設定となるまで調整してください。

※PDF 形式のファイルにおいて「項目名」と「内容」がページを跨ってしまう場合は、Excel テンプレート作成時に Excel の機能である印刷ページ設定で「次のページ数に合わせて印刷：横[1]×縦[空欄]」とすることで、事象を回避できる場合があります。

なお、色付けや、罫線の変更も可能です。

② 内容欄の数式

2 行目以降の「内容」欄には Excel の数式が挿入されていますが、数式の変更・削除は行わないようにしてください。

③ kaitoData シート

回答データテンプレートの「kaitoData」シートについては、シートの削除、及びシート名の変更は行わないようにしてください。

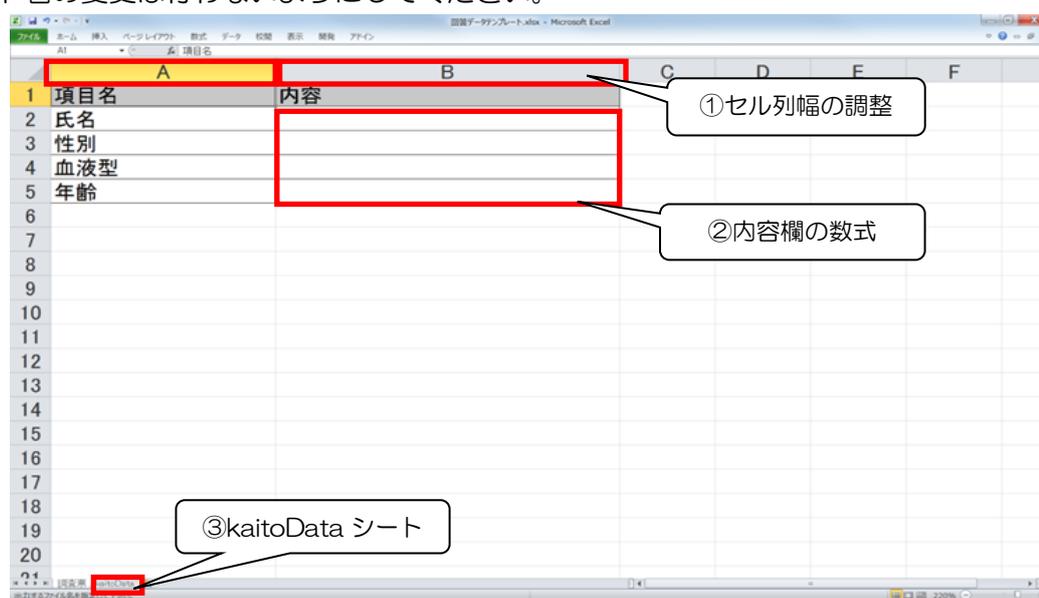


図 4-14 回答データテンプレート

4.2 開発フェーズ

電子調査票開発における開発フェーズでの手順を説明します。要件確定フェーズで作成した項目定義設計書を基に、電子調査票を作成します。

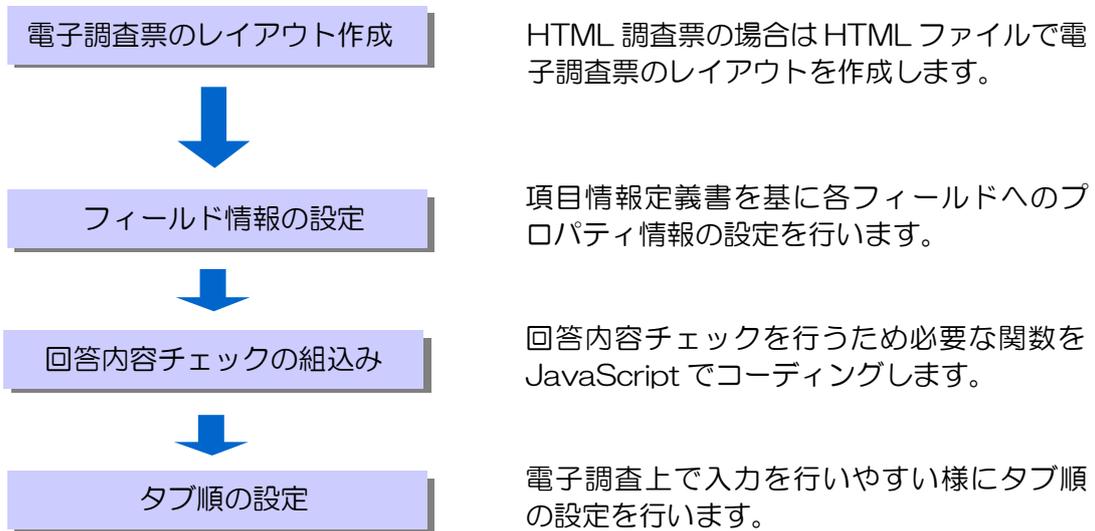


図 4-15 作業手順

4.2.1 電子調査票のレイアウト作成

HTML 調査票の場合は、開発に必要なツールの指定はありません。テンプレートは用意されていませんが、運用管理機関より共通関数が定義された JavaScript ファイルが提供されます。

The image shows a sample online survey form with various input fields and callouts. The callouts are as follows:

- テキストフィールド 4.2.2(1)を参照**: Points to the name, kana, and email address fields.
- セレクトボックス 4.2.2(4)を参照**: Points to the prefecture dropdown menu.
- ラジオボタン 4.2.2(3)を参照**: Points to the gender radio buttons.
- チェックボックス 4.2.2(2)を参照**: Points to the checkboxes for survey items and delivery preferences.

The form includes the following fields:

- 氏名 (Required)
- フリガナ (全角カナ) (Required)
- フリガナ (半角カナ) (Required)
- メールアドレス (Required)
- メールアドレス (確認) (Required)
- パスワード (Required)
- パスワード (確認) (Required)
- 郵便番号 (Required)
- 都道府県 (Required) - Select box
- 市区町村 (Required)
- 番地・部屋番号 (Required)
- 建物名 (Required) - Input field with note: 入力されていれば半角カナ
- 性別 (Required) - Radio buttons: 男性, 女性, 未回答
- 生年月日 (Required) - Date picker
- 年齢 (Required) - Age input
- 世帯主との続き柄 (Required) - Select box: 世帯主
- 調査項目その1 (Required) - Checkboxes: 選択肢01, 02, 03
- 調査結果の送付 (Required) - Checkbox: 調査票の送付を希望する
- 特記事項 (Optional) - Text area

Navigation buttons at the top: 次ページへ, 回答の一時保存, 一時保存した回答の取得, 調査票一覧へ. Buttons at the bottom: 回答の送信, 回答の一時保存, 一時保存した回答の取得, 調査票一覧へ, 前ページへ.

図 4-16 サンプル調査票

4.2.2 フィールド情報の設定

(1) テキストフィールド

項目定義設計書の各項目（「タグ名」、「読取専用」、「桁よせ」、「文字サイズ」、「最大文字数」、「複数行入力」）に従って、テキストフィールドのプロパティを設定します。

① タグ名

input タグの name 属性に「タグ名」の値を設定します。

```
<input type="text" name="fn_kanji" size="8" maxlength="20" value="" >
```

・図は「タグ名」が「fn_kanji」の場合の例です。

図 4-17 タグ名の設定

② 読取専用

input タグに readonly 属性を設定します。

```
<input type="text" name="fn_kanji" size="8" maxlength="20" value="" readonly >
```

図 4-18 読取専用の設定

③ 桁よせ

input タグに「桁よせ」の値に従ってスタイルシートを設定します。

```
<input type="text" style="text-align:left" name="fn_kanji" size="8" maxlength="20" value="" >
```

・図は「桁よせ」が「左」の場合の例です。

図 4-19 桁よせの設定

④ 文字サイズ

input タグに「文字サイズ」の値に従ってスタイルシートを設定します。

```
<input type="text" style="font-size:10px" name="fn_kanji"
size="8" maxlength="20" value="">
```

・図は「文字サイズ」が「10」の場合の例です。

図 4-20 文字サイズの設定

⑤ 最大文字数

input タグの maxlength 属性に「最大文字数」の値を設定します。

```
<input type="text" name="fn_kanji" size="8" maxlength="20"
value="">
```

・図は「最大文字数」が「20」の場合の例です。

図 4-21 最大文字数の設定

⑥ 複数行入力

textarea タグを使用してテキストフィールドを設定します。

```
<textarea rows="5" cols="28" name="comment1" wrap="soft">
</textarea>
```

図 4-22 複数行入力の設定

(2) チェックボックス

項目定義設計書の各項目（「タグ名」、「読取専用」、「初期値」）に従って、チェックボックスのプロパティを設定します。

※チェックボックスは、チェックされていない場合や、読取専用となっている場合に submit されません。

チェックされていない項目や読取専用になっている項目についても、必ず値が送信されるように回答送信時に制御を行ってください。実装例は、サンプルの HTML 調査票を参照してください。

※スマートフォンやタブレットではデフォルトのチェックボックスはタップしづらく、label タグを使って選択しやすくする、CSS の属性を変えるなど、レスポンスに対応する必要があります。

① タグ名

input タグの name 属性に「タグ名」の値を設定します。

```
<input type="checkbox" name="chosa1" value="0">
```

・図は「タグ名」が「chosa1」の場合の例です。

図 4-23 タグ名の設定

② 読取専用

input タグに disabled 属性を設定します。

```
<input type="checkbox" name="chosa1" value="0" disabled>
```

図 4-24 読取専用の設定

③ 初期値

input タグの checked 属性を設定します。

- ・「初期値」が 0 の場合：checked 属性を設定します。
- ・「初期値」が - の場合：checked 属性を設定しません。

```
<input type="checkbox" name="chosa1" value="0" checked>
```

・図は「初期値」が 0 の場合の例です。

図 4-25 初期値の設定

④ イメージ

スマートフォンやタブレットでは、以下のイメージのままだと操作しづらいため選択肢（名称）分を含む全体のクリックで反応するように対応する必要があります。

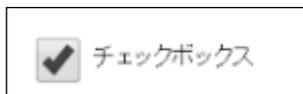


図 4-26 チェックボックスのイメージ

(3) ラジオボタン

項目定義設計書の各項目（「タグ名」、「読取専用」、「選択肢（名称）」、「選択肢（値）」、「初期値」）に従って、ラジオボタンのプロパティを設定します。

※ラジオボタンは、選択されていない場合や、読取専用となっている場合に submit されません。

選択されていない項目や読取専用になっている項目についても、必ず値が送信されるように回答送信時に制御を行ってください。実装例は、サンプルの HTML 調査票を参照してください。

※スマートフォンやタブレットではデフォルトのラジオボタンはタップしづらく、label タグを使って選択しやすくする、CSS の属性を変えるなど、レスポンスに対応する必要があります。

① タグ名

input タグの name 属性に「タグ名」の値を設定します。

```

<input type="radio" name="gender" value="0">男性
<input type="radio" name="gender" value="1">女性
<input type="radio" name="gender" value="2">未回答
    
```

・図は「タグ名」が「gender」の場合の例です。

図 4-27 タグ名の設定

② 読取専用

input タグに disabled 属性を設定します。

```

<input type="radio" name="gender" value="0" disabled>男性
<input type="radio" name="gender" value="1" disabled>女性
<input type="radio" name="gender" value="2" disabled>未回答
    
```

図 4-28 読取専用の設定

③ 選択肢（名称）、選択肢（値）

input タグに「選択肢（名称）」「選択肢（値）」の値を設定します。

```
<input type="radio" name="gender" value="0">男性
<input type="radio" name="gender" value="1">女性
<input type="radio" name="gender" value="2">未回答
```

・図は「選択肢（名称）」が「男性」、「女性」、「未回答」の場合に、「男性」の「値」が「0」、「女性」の「値」が「1」、「未回答」の「値」が「2」の場合の例です。

図 4-29 選択肢（名称）、選択肢（値）の設定

④ 初期値

input タグの checked 属性を設定します。

- ・「初期値」が0の場合：checked 属性を設定します。
- ・「初期値」がーの場合：checked 属性を設定しません。

```
<input type="radio" name="gender" value="0" checked>男性
<input type="radio" name="gender" value="1">女性
<input type="radio" name="gender" value="2">未回答
```

・図は「男性」の「初期値」が0の場合の例です。

図 4-30 初期値の設定

⑤ イメージ

スマートフォンやタブレットでは、以下のイメージのままだと操作しづらいため選択肢（名称）分を含む全体のクリックで反応するように対応する必要があります。



図 4-31 ラジオボタンのイメージ

(4) セレクトボックス

項目定義設計書の各項目（「タグ名」、「読取専用」、「選択肢（名称）」、「選択肢（値）」、「初期値」）に従って、セレクトボックスのプロパティを設定します。

※セレクトボックスは、選択されていない場合や、読取専用となっている場合に submit されません。

選択されていない項目や読取専用になっている項目についても、必ず値が送信されるように回答送信時に制御を行ってください。実装例は、サンプルの HTML 調査票を参照してください。

① タグ名

select タグの name 属性に「タグ名」の値を設定します。

```
<select name="gengo">
  <option value="0">明治</option>
  <option value="1">大正</option>
  <option value="2">昭和</option>
  <option value="3">平成</option>
  <option value="4">令和</option>
  <option value="5">西暦</option>
</select>
```

・図は「タグ名」が「gengo」の場合の例です。

図 4-32 タグ名の設定

② 選択肢（名称）、選択肢（値）

option タグに「選択肢（名称）」「選択肢（値）」の値を設定します。

```
<select name="gengo">
  <option value="0">明治</option>
  <option value="1">大正</option>
  <option value="2">昭和</option>
  <option value="3">平成</option>
  <option value="4">令和</option>
  <option value="5">西暦</option>
</select>
```

・図は「選択肢（名称）」が「明治」、「大正」、「昭和」、「平成」、「令和」、「西暦」の場合に、「明治」の値が「0」、「大正」の値が「1」、「昭和」の値が「2」、「平成」の値が「3」、「令和」の値が「4」、「西暦」の値が「5」の場合の例です。

図 4-33 選択肢（名称）、選択肢（値）の設定

③ 初期値

option タグの selected 属性を設定します。

- ・「初期値」が0の場合：selected 属性を設定します。
- ・「初期値」が-の場合：selected 属性を設定しません。

```

<select name="gengo">
<option value="0" selected>明治</option>
<option value="1">大正</option>
<option value="2">昭和</option>
<option value="3">平成</option>
<option value="4">令和</option>
<option value="5">西暦</option>
</select>
    
```

・図は「初期値」が0の場合の例です。

図 4-34 初期値の設定

④ イメージ

スマートフォンやタブレットでは以下のようなイメージとなります。

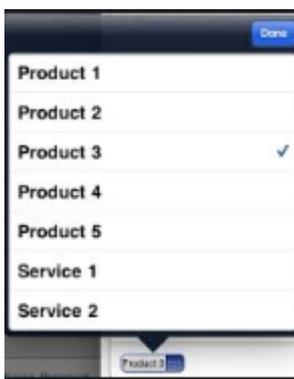


図 4-35 セレクトボックスのイメージ

(5) リストボックス

項目定義設計書の各項目（「タグ名」、「読取専用」、「選択肢（名称）」、「選択肢（値）」、「初期値」）に従って、リストボックスのプロパティを設定します。

リストボックスとする場合、size 属性が設定できます size 属性には、表示したい行数を設定します。

```
<select size="3" name="gengo">
  <option value="0" selected>明治</option>
  <option value="1">大正</option>
  <option value="2">昭和</option>
  <option value="3">平成</option>
  <option value="4">令和</option>
  <option value="5">西暦</option>
</select>
```

・図はリストボックスの表示行数を 3 行とする場合の例です。

図 4-36 size 属性の設定

① タグ名

select タグの name 属性に「タグ名」の値を設定します。

```
<select size="3" name="gengo">
  <option value="0">明治</option>
  <option value="1">大正</option>
  <option value="2">昭和</option>
  <option value="3">平成</option>
  <option value="4">令和</option>
  <option value="5">西暦</option>
</select>
```

・図は「タグ名」が「gengo」の場合の例です。

図 4-37 タグ名の設定

② 選択肢（名称）、選択肢（値）

option タグに「選択肢（名称）」「選択肢（値）」の値を設定します。

```
<select size="3" name="gengo">
  <option value="0">明治</option>
  <option value="1">大正</option>
  <option value="2">昭和</option>
  <option value="3">平成</option>
  <option value="4">令和</option>
  <option value="5">西暦</option>
</select>
```

・図は「選択肢（名称）」が「明治」、「大正」、「昭和」、「平成」、「西暦」の場合に、「明治」の値が「0」、「大正」の値が「1」、「昭和」の値が「2」、「平成」の値が「3」、「令和」の値が「4」、「西暦」の値が「5」の場合の例です。

図 4-38 選択肢（名称）、選択肢（値）の設定

③ 初期値

option タグの selected 属性を設定します。

- ・「初期値」が0の場合：selected 属性を設定します。
- ・「初期値」が-の場合：selected 属性を設定しません。

```
<select size="3" name="gengo">
  <option value="0" selected>明治</option>
  <option value="1">大正</option>
  <option value="2">昭和</option>
  <option value="3">平成</option>
  <option value="4">令和</option>
  <option value="5">西暦</option>
</select>
```

・図は「初期値」が0の場合の例です。

図 4-39 初期値の設定

(6) 一時回答取得

一時回答取得を起動する場合は、任意のタグに起動トリガーの設定と対象フォーム情報の指定を行います。

※name 属性には、必ず関数名とは異なる文字列を設定してください。

※関数「CmnLoadKaitoTmp」はカスタマイズ可能です。

サブミット前に独自の処理を行いたい場合は、当該関数を修正してください。

ただし、サブミット処理の呼び出しは変更しないでください。

```
<tags name="cmnLoadKaitoTmp"
  attribute="CmnLoadKaitoTmp(document.forms[0],
  actname_load_kaito_tmp)">
  表示名（※一部のタグは表示名を value 属性値に記述します）
</tags>
```

図 4-40 一時回答取得関数の記述フォーマット

tags … 任意の HTML タグ

attribute … onclick, onkeypress などの起動トリガーになる属性

以下はボタン（input タグ）からクリックで起動する場合の設定例です。

```
<input type="button" name="cmnLoadKaitoTmp"
  onclick="CmnLoadKaitoTmp(document.forms[0],
  actname_load_kaito_tmp)" value="一時回答取得">
```

図 4-41 一時回答取得関数の設定例

(7) フィールド情報のクリア

入力したフィールド情報を初期値に戻す場合は、任意のタグに起動トリガーの設定と対象フォーム情報の指定を行います。

※name 属性には、必ず関数名とは異なる文字列を設定してください。

※関数「CmnResetKaito」はカスタマイズ可能です。

確認ダイアログのメッセージを変更したい場合は、当該関数を修正してください。

```
<tags name="cmnResetKaito"  
  attribute="CmnResetKaito(document.forms[0])">  
  表示名（※一部のタグは表示名を value 属性値に記述します）  
</tags>
```

図 4-42 フィールド情報のクリア関数の記述フォーマット

tags … 任意の HTML タグ

attribute … onclick, onkeypress などの起動トリガーになる属性

以下はボタン（input タグ）からクリックで起動する場合の設定例です。

```
<input type="button" name="cmnResetKaito"  
onclick="CmnResetKaito(document.forms[0])" value="クリア">
```

図 4-43 フィールド情報のクリア関数の設定例

(8) ページ送り

ページ送りを行う場合は、任意のタグに起動トリガーの設定と対象フォーム情報及び遷移先ページの指定を行います。

※name 属性には、必ず関数名とは異なる文字列を設定してください。

※関数「CmnSendPage」はカスタマイズ可能です。

サブミット前に独自の処理を行いたい場合は、当該関数を修正してください。

ただし、サブミット処理の呼び出しは変更しないでください。

```
<tags name="cmnSendPage"  
  attribute="CmnSendPage(document.forms[0], actname_send_page,  
  pageNum)">  
  表示名（※一部のタグは表示名を value 属性値に記述します）  
</tags>
```

図 4-44 ページ送り関数の記述フォーマット

tags … 任意の HTML タグ

attribute … onclick, onkeypress などの起動トリガーになる属性

pageNum … 起動された際に表示するページ番号

レスポンス Web デザイン対応版のサンプルでは、確認メッセージの表示後に起動を行ったり、実査機能以外からの呼び出しに対応するため、調査票にモーダルウィンドウの配置が必要です。詳細は「(15)モーダルウィンドウを表示する」と HTML 調査票サンプルの実装を参照してください。

以下はボタン（input タグ）からクリックで起動する場合の設定例です。

```
<input type="button" name="cmnSendPage"  
  onclick="CmnSendPage(document.forms[0], actname_send_page, '2')"  
  value="次ページへ">
```

図 4-45 ページ送り関数の設定例

(9) 一時回答保存

一時回答の保存を行う場合は、任意のタグに起動トリガーの設定と対象フォーム情報の指定を行います。

※name 属性には、必ず関数名とは異なる文字列を設定してください。

※関数「CmnSaveKaitoTmp」はカスタマイズ可能です。

サブミット前に独自の処理を行いたい場合は、当該関数を修正してください。

ただし、サブミット処理の呼び出しは変更しないでください。

```
<tags name="cmnSaveKaitoTmp"
  attribute="CmnSaveKaitoTmp(document.forms[0],
  actname_save_kaito_tmp)">
  表示名（※一部のタグは表示名を value 属性値に記述します）
</tags>
```

図 4-46 一時回答保存関数の記述フォーマット

tags … 任意の HTML タグ

attribute … onclick, onkeypress などの起動トリガーになる属性

レスポンス Web デザイン対応版のサンプルでは、確認メッセージの表示後に起動を行ったり、実査機能以外からの呼び出しに対応するため、調査票にモーダルウィンドウの配置が必要です。詳細は「(15)モーダルウィンドウを表示する」と HTML 調査票サンプルの実装を参照してください。

以下はボタン（input タグ）からクリックで起動する場合の設定例です。

```
<input type="button" name="cmnSaveKaitoTmp"
  onclick="CmnSaveKaitoTmp(document.forms[0],
  actname_save_kaito_tmp)" value="一時回答保存">
```

図 4-47 一時回答保存関数の設定例

(10) 回答データ送信

回答データの送信を行う場合は、任意のタグに起動トリガーの設定と対象フォーム情報の指定を行います

※name 属性には、必ず関数名とは異なる文字列を設定してください。

※関数「CmnSendKaito」はカスタマイズ可能です。

サブミット前に独自の処理を行いたい場合は、当該関数を修正してください。

ただし、サブミット処理の呼び出しは変更しないでください。

```
<tags name="cmnSendKaito"  
  attribute="CmnSendKaito(document.forms[0],  
  actname_send_kaito)">  
  表示名（※一部のタグは表示名を value 属性値に記述します）  
</tags>
```

図 4-48 回答データ送信関数の記述フォーマット

tags … 任意の HTML タグ

attribute … onclick, onkeypress などの起動トリガーになる属性

レスポンス Web デザイン対応版のサンプルでは、確認メッセージの表示後に起動を行ったり、実査機能以外からの呼び出しに対応するため、調査票にモーダルウィンドウの配置が必要です。詳細は「(15)モーダルウィンドウを表示する」と HTML 調査票サンプルの実装を参照してください。

以下はボタン（input タグ）からクリックで起動する場合の設定例です。

```
<input type="button" name="cmnSendKaito"  
  onclick="CmnSendKaito(document.forms[0], actname_send_kaito)"  
  value="回答の送信">
```

図 4-49 回答データ送信関数の設定例

(11) 調査票一覧画面へ遷移する

調査票一覧画面へ遷移する場合は、任意のタグに起動トリガーの設定を行います。

レスポンス Web デザイン対応版のサンプルでは、確認メッセージの表示後に起動を行ったり、実査機能以外からの呼び出しに対応するため、調査票にモーダルウィンドウの配置が必要です。詳細は「(15)モーダルウィンドウを表示する」と HTML 調査票サンプルの実装を参照してください。

以下はボタン（input タグ）からクリックで起動する場合の設定例です。

```
<input type="button" name="cmnChosahyoList"  
  onclick="CmnChosahyoList ()" value="調査票一覧へ">
```

図 4-50 調査票一覧画面へ遷移する関数の設定例

(12) お問い合わせを開く

お問い合わせを開く場合は、任意のタグに起動トリガーの設定を行います。

レスポンシブ Web デザイン対応版のサンプルでは、確認メッセージの表示後に起動を行ったり、実査機能以外からの呼び出しに対応するため、調査票にモーダルウィンドウの配置が必要です。詳細は「(15)モーダルウィンドウを表示する」とHTML調査票サンプルの実装を参照してください。

以下はボタン（input タグ）からクリックで起動する場合の設定例です。

```
<input type="button" name="cmnToiawase" onclick="CmnToiawase ()" value="お問い合わせ">
```

図 4-51 お問い合わせを開く関数の設定例

(13) ヘルプを開く

ヘルプを開く場合は、任意のタグに起動トリガーの設定を行います。

レスポンシブ Web デザイン対応版のサンプルでは、確認メッセージの表示後に起動を行ったり、実査機能以外からの呼び出しに対応するため、調査票にモーダルウィンドウの配置が必要です。詳細は「(15)モーダルウィンドウを表示する」とHTML調査票サンプルの実装を参照してください。

以下はボタン（input タグ）からクリックで起動する場合の設定例です。

```
<input type="button" name="cmnHelp" onclick="CmnHelp ()" value="ヘルプ">
```

図 4-52 ヘルプを開く関数の設定例

(14) ログアウトする

ログアウトする場合は、任意のタグに起動トリガーの設定を行います。

レスポンシブ Web デザイン対応版のサンプルでは、確認メッセージの表示後に起動を行ったり、実査機能以外からの呼び出しに対応するため、調査票にモーダルウィンドウの配置が必要です。詳細は「(15)モーダルウィンドウを表示する」とHTML調査票サンプルの実装を参照してください。

以下はボタン（input タグ）からクリックで起動する場合の設定例です。

```
<input type="button" name="cmnLogout" onclick="CmnLogout ()" value="ログアウト">
```

図 4-53 ログアウトする関数の設定例

(15) モーダルウィンドウを表示する

回答の送信や取得など、処理をすぐに実行せず利用者に事前確認や注意喚起を行うためのモーダルウィンドウ（モーダルダイアログ）を表示することができます。

※レスポンス Web デザイン対応版サンプルを使用した場合のみ利用できます

以下はボタン（button タグ）からクリックで起動する場合の設定例です。

```

<!-- モーダルウィンドウの呼び出しボタン -->
<button
  type="button"
  data-toggle="modal"
  data-target="#modal_sample">モーダルウィンドウ表示</button>

<!-- モーダルウィンドウ -->
<div id="modal_sample" class="modal fade">
  ~~~省略~~~
  <div class="modal-footer">
    <!-- 処理を実行せず閉じる「キャンセル」ボタンを配置する場合 -->
    <button type="button" data-dismiss="modal">キャンセル</button>
    <!-- 処理を実行する「OK」ボタンを配置する場合 -->
    <button type="button" onclick="{処理(関数)の呼び出し}">OK</button>
  </div>

```

※運用管理機関から提供するサンプルには必須モーダルウィンドウ以下4種の他、設定例として各機能にモーダルウィンドウが実装されています

- modal_info(お知らせ、OK ボタンのみ配置)
- modal_conf(確認、キャンセル/OK ボタンを配置)
- modal_warn(警告、OK ボタンのみ配置)
- modal_error(エラー用、OK ボタンのみ配置)

• 図 4-54 モーダルウィンドウ表示の関数の設定例

4.2.3 回答内容チェックの組み込み

(1) 回答内容チェック

必要な回答内容チェックを JavaScript で組み込みます。共通関数については「5. 関数仕様」を参照してください。

- ・ スクリプト内で入力値の判定や、入力フィールドの入力/参照の制御、背景色の変更等を行う事ができます。

```
108  /**←
109  *-----*←
110  * 入力チェック処理を起動します。←
111  *←
112  * @param   iForm←
113  * @return  処理結果←
114  *-----*←
115  */←
116  function CmnExecCheck(iForm) {←
117  ←
118  ~   var target = '';←
119  ~   var result = '';←
120  ~   var errmsg = '';←
121  ←
122  ~   // 改行文字列一括指定用←
123  ~   var kaigyo = 1;←
124  ←
125  ~   /**←
126  ~   * おなまえ (氏) ←
127  ~   */←
128  ~   target = 'fn_kanji';←
129  ←
130  ~   // 入力チェック←
131  ~   if (!CmnInputChk(iForm, 1, target)) {←
132  ~     errmsg += CmnEditMessage(←
133  ~       $l_errmsg.E0001, new Array($l_item[target]), kaigyo);←
134  ~   }←
135  ~   // 全角チェック←
136  ~   else if (!CmnZenChk(iForm, target)) {←
137  ~     errmsg += CmnEditMessage(←
138  ~       $l_errmsg.E0007, new Array($l_item[target]), kaigyo);←
139  ~   }←
140  ←
141  ~   /** おなまえ (名) */←
142  ~   target = 'ln_kanji';←
143  ←
144  ~   // 入力チェック←
145  ~   if (!CmnInputChk(iForm, 1, target)) {←
146  ~     errmsg += CmnEditMessage(←
147  ~       $l_errmsg.E0001, new Array($l_item[target]), kaigyo);←
148  ~   }←
149  ~   // 全角チェック←
150  ~   else if (!CmnZenChk(iForm, target)) {←
151  ~     errmsg += CmnEditMessage(←
152  ~       $l_errmsg.E0007, new Array($l_item[target]), kaigyo);←
```

4.2.4 タブ順の設定

項目定義設計書に従って、タブ順を設定します。タブ順はタグの `tabindex` 属性の値を設定します。

```
<input type="text" name="fn_kanji" size="8" maxlength="255"  
value="" tabindex=1 >
```

図 4-56 タブ順の設定

4.3 単体テストフェーズ

電子調査票単体での動作確認の手順について説明します。XML データ構造については、単体テストにおいてはスタンドアロン環境で確認を行い、サーバとの連携に関しては結合テストフェーズでの確認項目とします。

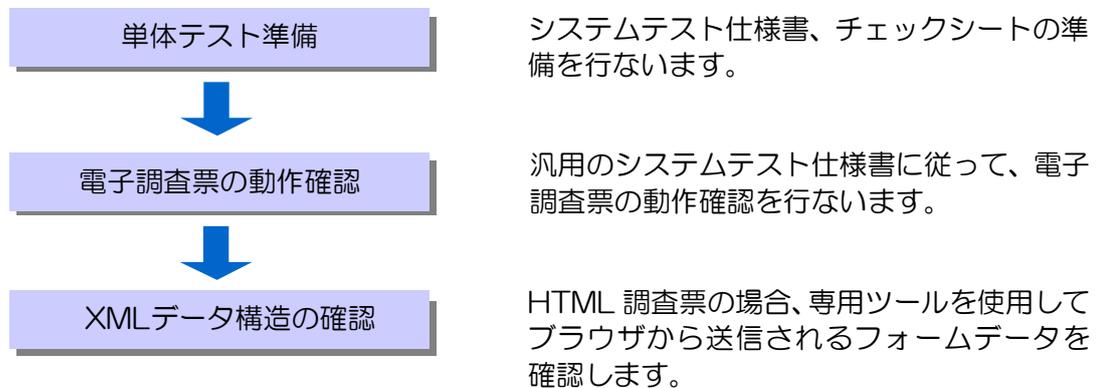


図 4-57 作業手順

電子調査票、項目定義設計書の確認観点を記載します。

- 電子調査票レイアウトの確認
レイアウトに問題ないかどうか。スマートフォンやタブレット端末等でも確認すること。
- 各調査項目仕様の確認
電子調査票の各調査項目の仕様に問題ないかどうか。
フィールド種類、項目名、タグ名、タブ順、読取専用、入力必須、桁よせ、文字サイズ、テキストタイプ、最大文字数、少数桁数、桁数チェック、プレプリント、選択肢、初期値、コメント等。
- 動作の確認
電子調査票の動作（JavaScript の実装により実現しているチェック等）に問題ないかどうか。
必須入力チェック、自動計算、項目間チェック等。

4.3.1 単体テスト準備

単体テストに先立って「システムテスト仕様書」と「システムテストチェックシート」の準備を行ないます。

(1) システムテスト仕様書

図 4-58 の汎用「システムテスト仕様書」に必要事項を入力した上で印刷を行ないます。システムテスト仕様書に定義されているテスト項目は表 4-5 の通りです。

表 4-5 汎用テスト項目一覧

項目番号	確認項目	確認内容
1	読み取り専用の確認	読み取り専用の設定が正しく行なわれている事を確認
2	タブ順の確認	Tab キーによるカーソルの移動が正しいことを確認
3	桁数の確認	最大文字数の設定が正しく行なわれている事を確認
4	桁よせの確認	桁よせの設定が正しく行なわれている事を確認
5	複数行入力の確認	複数行入力の設定が正しく行なわれている事を確認
6	初期値の確認	初期値の設定が正しく行なわれている事を確認
7	ポップアップコメントの確認	各入力フィールドにカーソルが移動した際にポップアップコメントが正しく表示される事を確認
8	回答内容チェックの確認	要件確定フェーズで合意した内容を全て満たしていることを確認
9	クリアボタンの動作確認	クリアボタンをクリックした際に入力内容が正しくクリアされる事を確認
10	次へボタンの動作確認	次へボタンをクリックした際に正しく動作する事を確認
11	XML データ構造の確認	専用ツールを使用してブラウザから送信されるフォームデータの内容を確認

システムテスト仕様書		所轄部署	〇〇省		承認		担当	
		統計調査名	〇〇〇〇調査					
		電子調査票名	〇〇〇〇〇〇調査票					
		電子調査票ID						
OS:	ブラウザ:							
項目番号	試験項目	確認条件（環境）& チェック確認条件	確認項目（結果）	試験1 確認日 判定	試験2 確認日 判定	確認方法		
-	システムテスト準備	① 試験用HTMLを確認する ② 試験時のブラウザ、OSを確認する（上記に記入） ③ 項目定義情報設計書と自動審査情報設計書を確認する ④ 項目定義書からチェックシートを作成する ⑤ チェックシートの初期値欄に値を設定する ⑥ 個別チェックがある場合は別途試験書を作成する ◆試験はローカル環境に複写後実施する	<要注意> ※項目定義設計書で作成されるチェックシートにはチェック対象外の項目にはずめ“-”（ハイフン）が設定されています ※確認日および判定（OK）は必ずボールペン字でお願いします					
1	入力フィールドの設定確認							チェックシートを使用
1-1	読み取り専用の確認	対象：全入力フィールド フィールドに入力が可能であるか確認する	読取専用 = "O" の場合：入力不可 読取専用 = "・" の場合：入力可能であることを確認する					目視
1-2	タブ順の確認	対象：全入力フィールド Tabキーによりカーソルの移動を行う	項目定義書のタブ順に設定されている通りの順番にカーソルが移動することを確認する ※読取専用のフィールドはテスト対象外					目視
1-3	桁数の確認	対象：テキストフィールド・数値フィールド 項目定義書、最大文字数以上の文字を入力する。	最大文字数以上の文字は入力できないことを確認する ※読取専用のフィールドやテキストフィールド・小数点フィールド以外のフィールドはテスト対象外					目視
1-4	桁よせの確認	対象：全入力フィールド 入力フィールドに値を入力して桁よせの状態を確認する。	項目定義書に設定されている通りに表示されることを確認する ※テキストフィールド・小数点フィールド以外のフィールドはテスト対象外					目視
1-5	複数行入力の確認	対象：テキストフィールド 入力内容を改行を行う	項目定義書通りに改行の不可が設定されていることを確認する ※テキストフィールド以外のフィールドはテスト対象外					目視
1-6	初期値の確認	対象：全入力フィールド 電子調査票を開いた時の状態を確認する	(初期値欄 or 備考に初期値の指定がある場合) 指定されている値が初期表示されていることを確認する (初期値欄 or 備考に初期値の指定がない場合) 初期値が空白であることを確認する					目視
1-7	ポップアップコメントの確認	対象：全入力フィールド 入力フィールド上にカーソルを移動した際に表示されるポップアップコメントの内容を確認する	項目定義書のコメントに設定されている通りの内容がポップアップコメントとして表示されることを確認する					目視
2	スクリプトの動作確認							
2-1	回答内容チェックの確認	対象：自動審査設計書 自動審査設計書に定義されている処理の動作確認を行う	自動審査設計書に定義されている処理が正しく実行されることを確認する					自動審査設計書 画面ハードコピー
2-2	クリアボタンの動作確認	対象：クリアボタン 全入力フィールドに入力を行なった状態で、クリアボタンをクリックした際の動作を確認する	クリックしたボタンが配置されているページの全入力フィールドが初期化されることを確認する					画面ハードコピー
3	XMLデータの確認							
3-2	XMLデータ構造の確認 (HTML調査票のみ)	対象：フォームデータ 専用ツールを使用して電子調査票を開き、全ての入力フィールドに値の入力を行ない、検証ボタンをクリックして検証結果を確認する。	検証結果の内容が項目定義書に定義されている通りであることを確認する					項目定義設計書 検証結果ハードコピー
4-1	試験後の確認	① 結果資料の右上にエビデンス番号を記入する ② 全エビデンスが揃っていること ③ 全ての確認日と判定が記入されていること ④ 担当に押印すること ⑤ ローカルに保存したエビデンス資料をサーバに複写する	<要注意> 当システムテスト仕様書は、全電子調査票共通用のものであるため、別途電子調査票個別の試験を実施する必要のあるものもあります。注意して下さい。					

図 4-58 汎用「システムテスト仕様書」

(2) システムテストチェックシート

図 4-59「システムテストチェックシート」を項目定義設計書から作成します。初期値欄は空白となりますので、項目定義設計書の初期値欄及び備考欄から値を転記します。必要事項の入力を終えた後に印刷を行いません。

項番	フィールド種類	項目名	試験項目 1-1		試験項目 1-2		試験項目 1-3		試験項目 1-4		試験項目 1-5		試験項目 1-6		試験項目 1-7	
			読取専用	確認欄	タブ順	確認欄	最大文字数	確認欄	桁よせ	確認欄	複数行入力	確認欄	初期表示 (手書きで記入してください)	確認欄	コメント	確認欄
1	テキストフィールド	総務省承認No.	○		-	-	-	左		-						-
2	テキストフィールド	承認期限	○		-	-	-	左		-						-
3	テキストフィールド	提出期限	○		-	-	-	左		-						-
4	テキストフィールド	ID	○		-	-	-	左		-						-
5	テキストフィールド	確認コード	-		48		10	左		-					確認コードを記入してください	-
6	テキストフィールド	調査対象品目名	○		-	-	-	左		-						-
7	テキストフィールド	品目コード	○		-	-	-	左		-						-
8	テキストフィールド	所在地	○		-	-	-	左		○						-
9	テキストフィールド	所在地(訂正記入欄)	-		1		60	左		○					所在地に訂正がある場合は記入してください	-
10	テキストフィールド	団体名_ふりがな	○		-	-	-	左		○						-
11	テキストフィールド	団体名	○		-	-	-	左		○						-
12	テキストフィールド	団体名_ふりがな(訂正記入欄)	-		2		50	左		○					団体名のふりがなに訂正がある場合は記入してください	-
13	テキストフィールド	団体名(訂正記入欄)	-		3		50	左		○					団体名に訂正がある場合は記入してください	-
14	テキストフィールド	代表者名_ふりがな	-		4		30	左		○					代表者名のふりがなを記入してください	-
15	テキストフィールド	代表者名	-		5		30	左		○					代表者名を記入してください	-
16	テキストフィールド	企業コード	○		-	-	-	左		-						-
17	小数点フィールド	変更年	-		6		2	右		-	-				変更がある場合は変更年を記入してください	-
18	小数点フィールド	変更月	-		7		2	右		-	-				変更がある場合は変更月を記入してください	-
19	小数点フィールド	変更日	-		8		2	右		-	-				変更がある場合は変更日を記入してください	-

図 4-59 「システムテストチェックシート」

4.3.2 電子調査票の動作確認

システムテスト仕様書を使用して、単体での動作確認を行います。HTML 調査票の場合は、HTML ファイル、CSS ファイル、画像ファイル、JavaScript ファイルを組み合わせ、サーバ通信が必要ない動作の確認を行います。

確認方法欄に記載されているエビデンスは必ず残すようにしてください。複雑な境界条件を有する回答内容チェックが行われる場合は、専用のチェックシート（フリーフォーマット）を作成して動作確認を行います。

4.3.3 XML データ構造の確認

単体テストフェーズでは電子調査票からサーバに送信したXML データ構造を確認する事が不可能であるため、専用ツールを使用して送信されるフォームデータの確認を行いません。

5 関数仕様

5.1 共通関数の構成

この章では HTML 電子調査票を作成する上で必要となる共通関数の構成について説明します。共通関数の詳細については各章を参照してください。

5.1.1 制御・チェック関数

データ取得やフィールドの制御及び入力値の判定等を行う関数です。

表 5-1 制御・チェック関数一覧

No.	関数名称	内 容
1	システム日付の取得	クライアントのシステム日付を自動的に取得します。 用途：電子調査票のオープン時等に使用します。
2	データクリア	ページ内の入力値を初期化したい場合に使用します。
3	クラス名の変更	エラー発生時、又はエラー解消時に対象フィールドの背景色の変更を行う場合に使用します。 変更したい背景色が定義されたクラスを変更後のクラスに指定することにより、背景色の変更が可能です。 また、枠や文字の色、太さに等ついても変更することが可能です。
4	表示／非表示の切り換え	オブジェクトを表示したい場合、又は非表示にしたい場合に使用します。
5	読み取り／入力の切り換え	オブジェクトを読み取り専用にした場合、又は入力可能にした場合に使用します。
6	入力項目チェック	入力必須及び入力推奨項目に対して、入力されているか、判定を行います。
7	日付チェック	日付項目に対して、正常な日付形式で入力されているか、判定を行います。
8	固定桁数チェック	項目に設定されている最大桁数で入力されているか、判定を行います。
9	範囲チェック	項目に設定されている入力範囲内で入力されているか、判定を行います。マイナスの判定にも使用します。
10	数値チェック	数値以外の文字が入力されていないか、判定を行います。
11	全角チェック	半角文字が混在していないか、判定を行います。
12	半角チェック	全角文字が混在していないか、判定を行います。
13	全角カナチェック	全角カナ文字以外の文字が混在していないか、判定を行います。
14	半角カナチェック	半角カナ文字が混在していないか、判定を行います。
15	半角カンマチェック	半角カンマが混在していないか、判定を行います。
16	メッセージ表示	確認及びエラーメッセージを表示させたい場合に使用します。
17	回答情報の埋め込み	プレプリント情報や回答情報の埋め込みを行います。 また、サーバから渡されるメッセージの表示を行います。

以下変数につきましては、調査票取得時点で、サーバ（オンライン調査システム）側にてデータが埋め込まれますので、意識なさらずご使用ください。具体的には、送信先の URL が埋め込まれる変数となります。利用機関側、公開側両方で共通で使用できるようにするために、都度 URL を埋め込む方式になっております。

表 5-2 埋め込み変数一覧

No.	変数名称	変数名称（物理名）	送信先サンプル（公開側の場合）
1	ページ送り	actname_send_page	GD04020101/refresh
2	一時回答保存	actname_save_kaito_tmp	GD04020101/saveKaito
3	一時回答取得	actname_load_kaito_tmp	GD04020101/getKaito
4	回答データ送信	actname_send_kaito	GD04020101/sendKaito

- 単体テストでは、上記変数が存在しないためエラーが発生する場合がありますので、chosa_hyo_tantai.js のようなファイルを用意し、HTML ファイルの head に、`<script type="text/javascript" src="./js/chosa_hyo_tantai.js"></script>` と記述してください。単体テストのフェーズでテストが必要な場合は、ダミーの値（※）をセットする。詳細はサンプル値を参照。

```
<html>
  <head>
    <meta>
    <script>
    <script type="text/javascript" src="./js/chosa_hyo_tantai.js"></script>
  </head>
  <body>
    <form>
    </form>
  </body>
</html>
```

図 5-1 テスト用 HTML サンプル

```
var actname_send_page = "index02.html";
var actname_save_kaito_tmp = "dummy";
var actname_load_kaito_tmp = "dummy";
var actname_send_kaito = "dummy";
```

図 5-2 テスト用 JS サンプル

5.1.2 共通関数利用時の注意

共通データを使用する上で引数にフィールド名が指定されている場合は、必ずフィールド名の存在有無を判定することが必要です。（関数内ではフィールド名の存在有無の判定結果が取得できません。）

5.2 共通関数の仕様（制御・チェック関数）

“必須”と記述されている引数について省略された場合はエラーとするので関数内エラー処理を必ず組み込んでください。

5.2.1 システム日付の取得

(1) 関数仕様

クライアントPCのシステム日付を取得します。記入日の初期表示を行ったり、内部処理で使用するための処理日に使用します。与えられた引数によりシステム日付を西暦又は和暦へ編集を行ない、結果を渡します。

(2) 関数形式

`CmnGetSysDate(iType)`

(3) 引数

iType	日付の編集形式を指定します。（必須） 1：西暦編集 yyyy/mm/dd 2：和暦編集 元号 yy 年 mm 月 dd 日
-------	---

(4) 戻り値

日付	iType で指定された形式で編集したシステム日付を戻します。
空値	引数が合っていないかもしくは正常に日付が取得できなかった場合に空値を戻します。

5.2.2 データクリア

(1) 関数仕様

ページ内の入力値をすべてクリアします。

(2) 関数形式

`CmnPageClear(iForm)`

(3) 引数

iForm	クリアの対象となるフォームを指定します。（必須）
-------	--------------------------

(4) 戻り値

なし

5.2.3 クラス名の変更

(1) 関数仕様

フィールドに設定されたクラス名を変更します。背景色を変更したい場合に、変更後の背景色が定義されたクラスを指定することで、背景色を変更することが可能です。また、枠や文字の色、太さ等についても変更することが可能です。

(2) 関数形式

```
CmnModClass(iForm、iClass、iField)
```

(3) 引数

iForm	クラス名を変更する対象となるフォームを指定します。(必須)
iClass	背景色等を定義した、スタイルシート内のクラス名を指定します。(必須) Ex サンプルスタイルシートに定義されたクラスに変更する場合 bgnml：薄緑（通常入力の状態） bgerr：ピンク（入力値のエラーの状態） bgnon：グレー（入力不可の状態）
iField	クラス名を変更する対象となるフィールド名を指定します。(必須)

(4) 戻り値

なし

5.2.4 表示/非表示の切り替え

(1) 関数仕様

オブジェクトを表示したい場合又は非表示にしたい場合に使用します。

(2) 形式

```
CmnVisible (iForm、iType、iField)
```

(3) 関数引数

iForm	表示制御の対象となるフォームを指定します。(必須)
iType	入力フィールドの表示/非表示を指定します。(必須) 0：非表示 1：表示
iField	表示/非表示を変更する対象の入力フィールドを指定します。(必須)

(4) 戻り値

なし

5.2.5 読み取り/入力の切り替え

(1) 関数仕様

オブジェクトを読み取り専用にしたい場合又は入力可能にしたい場合に使用します。ラジオボタン等の選択値によって入力の分岐が発生する項目に対して制御を行います。切り替えと同時に背景色の設定を行いたい場合、「クラス名の変更」関数を併用してください。

※テキストフィールド以外を読み取り専用とした場合は disabled 属性が設定されるため、submit されません。

読み取り専用とした項目についても、必ず値が送信されるように制御を行ってください。実装例は、サンプルの HTML 調査票を参照してください。

(2) 関数形式

```
CmnEnable(iForm、iType、iField)
```

(3) 引数

iForm	読み取り/入力の切り替えの対象となるフォームを指定します。(必須)
iType	入力フィールドの状態を指定します。(必須) 0：入力可能な状態 1：表示のみの状態
iField	状態を制御する対象の入力フィールドを指定します。(必須)

(4) 戻り値

なし

5.2.6 入力項目チェック

(1) 関数仕様

入力必須及び入力推奨項目に対して入力されているか、されていないかの判定を行います。

チェックの対象はテキストフィールド、チェックボックス、ラジオボタン、セレクトボックス、リストボックスとします。

① テキストフィールド

指定されたタグの値を空文字と比較判定します。

② チェックボックス

指定されたタグの checked 属性の確認をします。

③ ラジオボタン

指定されたタグの checked 属性の確認をします。

④ セレクトボックス

指定されたタグの値を空文字及び Null と比較判定します。

⑤ リストボックス

指定されたタグの値を空文字及び Null と比較判定します。

(2) 関数形式

```
CmnInputChk(iForm、iTrim、iField)
```

(3) 引数

iForm	入力チェックを行う対象となるフォームを指定します。(必須)
iTrim	空白に対する処理を指定します。テキストフィールドに対してのみ有効です。(必須) 0：空白を除去しません。 1：前後の空白（半角、全角）を除去します。
iField	入力状態をチェックする対象の入力フィールドを指定します。(必須)

(4) 戻り値

True	入力値があった場合に True を戻します。
False	入力値がなかった場合に False を戻します。

5.2.7 日付チェック

(1) 関数仕様

日付項目に対して、正常な日付形式で入力されているか判定を行います。関数には西暦・和暦種別と年、月、日の4つを引数として渡します。

(2) 関数形式

```
CmnDateChk(iForm、 iEra、 iYear、 iMonth、 iDate)
```

(3) 引数

iForm	日付判定を行う対象となるフォームを指定します。(必須)
iEra	日付の種別を指定します。(必須) 西暦で渡す場合は“西暦”、和暦で渡す場合は元号を指定します。
iYear	日付判定を行う年を指定します。(必須)
iMonth	日付判定を行う月を指定します。(必須)
iDate	日付判定を行う日を指定します。(必須)

Ex. 西暦日付を渡す場合 CmnDateChk(form、“西暦”、 kinyuYYYY、 kinyuMM、 kinyuDD)

Ex. 和暦日付を渡す場合 CmnDateChk(form、“令和”、 kinyuYYYY、 kinyuMM、 kinyuDD)

(4) 戻り値

True	日付が論理的に正しい場合に True を戻します。
False	日付が論理的に正しくない場合に False を戻します。

5.2.8 固定桁数チェック

(1) 関数仕様

指定されている最小、最大桁数で入力されているか判定を行います。

(2) 関数形式

```
CmnLenChk(iForm、 iLenF、 iLenT、 iField)
```

(3) 引数

iForm	桁数チェックを行う対象となるフォームを指定します。(必須)
iLenF	最小桁数を指定します。(必須)
iLenT	最大桁数を指定します。(必須)
iField	固定桁数の判定を行う対象の入力フィールドを指定します。(必須)

(4) 戻り値

True	桁数が正しい場合に True を戻します。
False	桁数が正しくない場合に False を戻します。

5.2.9 範囲チェック

(1) 関数仕様

入力された値が特定の範囲内の値で入力されているか判定を行います。

(2) 関数形式

```
CmnRangeChk(iForm、iType、iRangeF、iRangeT、iField)
```

(3) 引数

iForm	範囲チェックを行う対象となるフォームを指定します。(必須)
iType	範囲の値との比較する種別を指定します。(必須) 1 : iRangeF < iField < iRangeT (開始値超え、終了値未満) 2 : iRangeF <= iField <= iRangeT (開始値以上、終了値以下)
iRangeF	判定を行う基準となる開始値を指定します。(必須)
iRangeT	判定を行う基準となる終了値を指定します。(必須)
iField	範囲チェックを行う対象の入力フィールドを指定します。(必須)

(4) 戻り値

True	対象の値が範囲内の場合に True を返します。
False	対象の値が範囲外の場合に False を返します。

5.2.10 数値チェック

(1) 関数仕様

指定された入力フィールドの値の全桁が0～9の全角又は半角の数値で入力されているかの判定を行います。

(2) 関数形式

```
CmnNumChk(iForm、iField)
```

(3) 引数

iForm	数値チェックを行う対象のフォームを指定します。(必須)
iField	数値チェックを行う対象の入力フィールドを指定します。(必須)

(4) 戻り値

True	数値のみの場合に True を返します。
False	数値以外の値があった場合に False を返します。

5.2.11 全角チェック

(1) 関数仕様

指定された入力フィールド内の値に全角文字と半角文字が混在していないかの判定を行います。入力フィールド内の値に、半角文字が存在していないことを確認します。

(2) 関数形式

```
CmnZenChk(iForm , iField)
```

(3) 引数

iForm	全角チェックを行う対象のフォームを指定します。(必須)
iField	全角チェックを行う対象の入力フィールドを指定します。(必須)

(4) 戻り値

True	全角文字以外が混在していない場合に True を返します。
False	全角文字以外が混在している場合に False を返します。

5.2.12 半角チェック

(1) 関数仕様

指定された入力フィールド内の値に全角文字と半角文字が混在していないかの判定を行います。入力フィールド内の値に、全角文字が存在していないことを確認します。

(2) 関数形式

```
CmnHanChk(iForm、 iField)
```

(3) 引数

iForm	半角チェックを行う対象のフォームを指定します。(必須)
iField	半角チェックを行う対象の入力フィールドを指定します。(必須)

(4) 戻り値

True	半角文字以外が混在していない場合に True を返します。
False	半角文字以外が混在している場合に False を返します。

5.2.13 全角カナチェック

(1) 関数仕様

指定された入力フィールド内の値に全角カナ以外の文字が存在するかの判定を行います。入力フィールド内の値に、正規表現を使用して全角カナにマッチしない文字が存在するか確認します。

(2) 関数形式

```
CmnZenKanaChk(iForm ,iField)
```

(3) 引数

iForm	全角カナチェックを行う対象のフォームを指定します。(必須)
iField	全角カナチェックを行う対象の入力フィールドを指定します。(必須)

(4) 戻り値

True	全角カナ文字以外が混在していない場合に True を戻します。
False	全角カナ文字以外が混在している場合に False を戻します。

5.2.14 半角カナチェック

(1) 関数仕様

指定された入力フィールド内の値に半角カナ以外の文字が存在するかの判定を行います。入力フィールド内の値に、正規表現を使用して半角カナにマッチしない文字が存在するか確認します。

(2) 関数形式

```
CmnHanKanaChk(iForm ,iField)
```

(3) 引数

iForm	半角カナチェックを行う対象のフォームを指定します。(必須)
iField	半角カナチェックを行う対象の入力フィールドを指定します。(必須)

(4) 戻り値

True	半角カナ文字が混在していない場合に True を戻します。
False	半角カナ文字が混在している場合に False を戻します。

5.2.15 半角カンマチェック

(1) 関数仕様

指定された入力フィールド内の値に半角カンマが混在していないかの判定を行います。
CSV 形式にて回答データを受け取る場合に使用してください。

(2) 関数形式

```
CmnCommaChk(iForm ,iField)
```

(3) 引数

iForm	半角カンマチェックを行う対象のフォームを指定します。(必須)
iField	半角カンマチェックを行う対象の入力フィールドを指定します。(必須)

(4) 戻り値

True	半角カンマが混在していない場合に True を返します。
False	半角カンマが混在している場合に False を返します。

5.2.16 メッセージ表示

(1) 関数仕様

確認及びエラーメッセージを表示させたい場合に alert 等と併用して使用します。

(2) 関数形式

```
CmnEditMessage(message、 values、 iType)
```

(3) 引数

Message	表示させたいメッセージを指定します。(必須)
Values	メッセージに含まれる埋め字（{0}、{1}、{2}…）と置換する文字列を、配列で指定します。埋め字内の番号が配列の添え字となります。(必須)
iType	メッセージに付加する改行についての設定を指定します。(必須) 0：改行を行いません。 1：改行コード（CRLF）を付与します。 2：改行タグ（ ）を付与します。

Ex

message = '{0}は{1}桁で入力してください。'

values = { '郵便番号', '7' }

実行結果：郵便番号は 7 桁で入力してください。

(4) 戻り値

メッセージ	編集後のメッセージを返します。
-------	-----------------

5.2.17 回答情報の埋め込み

(1) 関数仕様

HTML 調査票の表示時に、プレプリント情報や回答情報の埋め込みを行います。また、サーバから渡されるメッセージの表示を行います。当該関数の呼び出しは、head タグの終了タグより後に、onload 属性で記載してください。

6埋め込み対象項目：strdata_array（宣言箇所等は 1.2.5(2)データ埋め込みとパス変換を参照）

7更新（F5 キー）は表示中のHTML 調査票のページに input タグ等で配置された項目のみが更新対象となります。

8 初期値は管理情報、連絡先情報、プレプリント情報となります。

```
var strdata_array = {  
  'text_001': '氏名の値',  
  'text_002': 'フリガナ（全角カナ）の値',  
  'text_003': 'フリガナ（半角カナ）の値',  
  'text_004': 'メールアドレスの値',  
  'text_005': 'メールアドレス（確認）の値',  
  'text_006': 'パスワードの値',  
  'text_007': 'パスワード（確認）の値',  
  'post_001': '郵便番号1の値',  
  'post_002': '郵便番号2の値',  
  'select_001': '都道府県の値'  
};
```

図 8-1 strdata_array に設定されるデータサンプル

(1) 関数形式

CmnEmbedData()

(2) 引数

なし

(3) 戻り値

なし

Microsoft Office Excel、Windows は、Microsoft Corporation の米国並びに他の国における商標又は登録商標です。

- JavaScript は Oracle Corporation の米国並びにその他の国における商標です。